MUSASHI

MULTI DEVICE CONTROLLER

MDC-3000 for XDS

OPERATION MANUAL

2nd Edition

武蔵株式会社

更新履歴

訂　番	日　付	内　容	担　当
初版	2013 年 10 月 4 日	初版作成	北川
第 2 版	2013 年 10 月 22 日	・各ページのポップアップメニュ説明変更 ・ログ収集方法追加 ・IP アドレス設定方法追加	北川

索引

1. 概要 3

2. 構成 4

２．１ 基本構成 4
２．２ 動画キャプチャオプション 5

3. 各部の名称と機能 6

３．１ フロントパネル 6
３．２ リアパネル 7

4. 操作パネル 8

４．１ ファンクションボタン 8
４．２ ライブ映像切り替えボタン （REC ライブボタン） 8
４．３ モードボタン 8
４．４ 操作ボタン 9

5. GUI 操作画面 10

５．１ ステータスエリア 11
（１）モニタアウト部 12
（２）収録ポートステータス 12
（３）再生ポートステータス 12
（４）XDS ステータス 13
（５）操作ボタン 13
５．２ 素材エリア 14
（１）クリップリストパネル 14
（２）マテリアルリストパネル 17
（３）クイックプレイパネル 19
（４）プレイリストパネル 20
５．２ メニュエリア 21
（１）クリップリストパネル 21
（２）マテリアルリストパネル 22
（３）クイックプレイパネル 23
（４）プレイリストパネル 23

6. 編集操作 24

６．１ 収録の開始、停止 24
６．２ 収録素材の呼び出し 26
６．３ クリップを編集する 27
（１）ページ、バンク切り替え 27
（２）クリップ呼び出し 28
（３）クリップ作成 29
（４）タイトル設定 30
（５）クリップ削除 31
（６）クリップコピー、移動 32
（７）クリップの転送 32
６．４ マテリアルパネルの操作 33

（１）メディアの選択 33
（２）メニュエリアの表示について 33
（３）並べ替え 34
（４）プログラム再生モード 35
６．５ クイックプレイパネルの操作 37
（１）ページ切り替え 37
（２）キュー点呼び出し 37
（３）キュー点登録 38
（４）登録位置移動 38
（５）削除 39
６．６ プレイリストの操作 40
（１）操作画面 40
（２）クリップを登録する 40
（３）プレイリストを編集する 41
（４）プレイリストを再生する 44
６．７ スクラッチパッド 45
（１）クラッチパッドモードへ遷移 45
（２）タイムコード入力 45
（３）モードボタン 45

7. 環境設定 46

７．１ 編集 46
７．２ 色 47
７．３ クリップ 48
７．４ スピード 49
７．５ システム 50
７．６ PRE,POSTROLL 51
７．７ タイトル 52
７．８ QUICKPLAY 53
７．９ MATERIAL 54
７．１０ その他 56
７．１１ 設定の保存と呼び出し 57

8. 運用時の注意点 58

（１）XDS 本体設定について 58
（２）制限事項 58

9. 操作ログの取得方法 59

10. IP アドレスの設定方法 60

11. 本体メニュ設定 61

12. 使用上の注意 62

13. 電気的仕様 63

14. 外観図 64

1. 概要

MDC-3000 for XDS は、SONY 製 XDCam Station（以下 XDS）をリモートコントロールする装置です。主に PLAY／STOP／REC／JOG／SHTTLE 等の制御は LAN ポートで行います。

PLAY LIST を作成し、簡単にハイライト再生が行えます（ディバイスの性能上、ハイライト再生のみ RS422 ポートを使用します)。

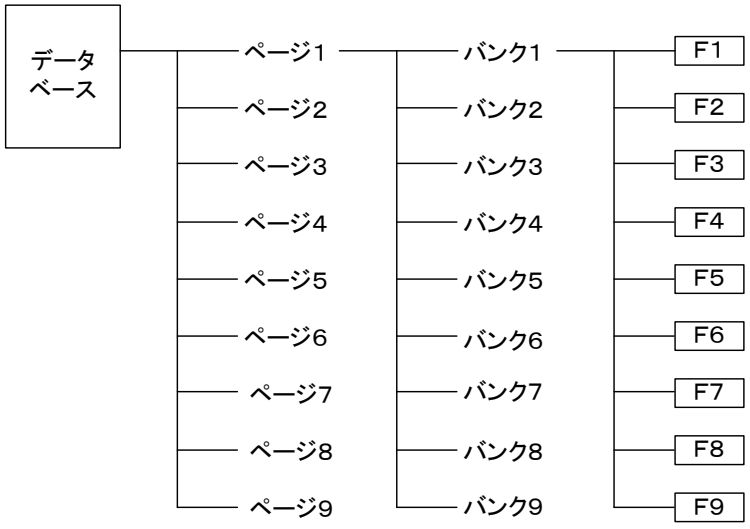
クリップ、プレイリストあわせて最大 729 件（9 ページ×9 バンク×9 ボタン）作成することが可能です。

■データ管理について

クリップ、プレイリストは ページ、バンクの階層構造で管理します。

ページは9ページ存在し、各ページは9バンクで構成され、各バンクにはF1～F9ボタン分のデータが格納できるようになっています。

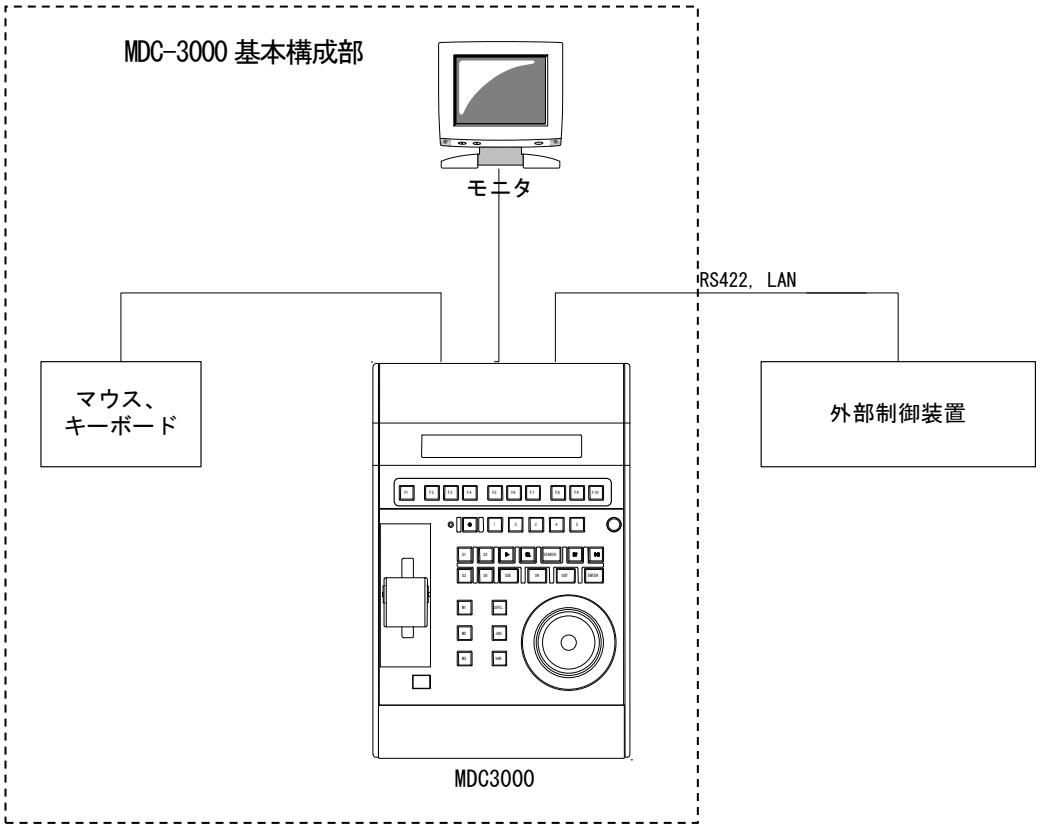
データ構成図



2. 構成

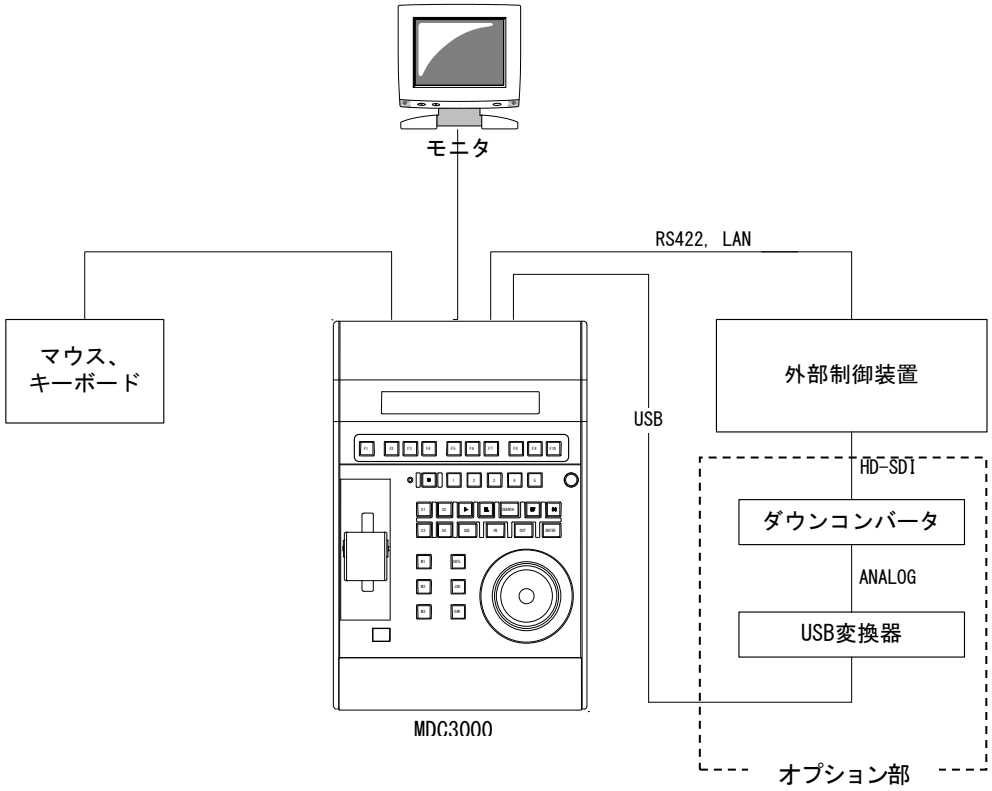
２．１ 基本構成

基本的な構成は以下のようになります。



２．２ 動画キャプチャオプション

送出画面にサムネイルを表示するための構成となります。本装置ではサムネイル作成のための動画キャプチャを USB で行います。

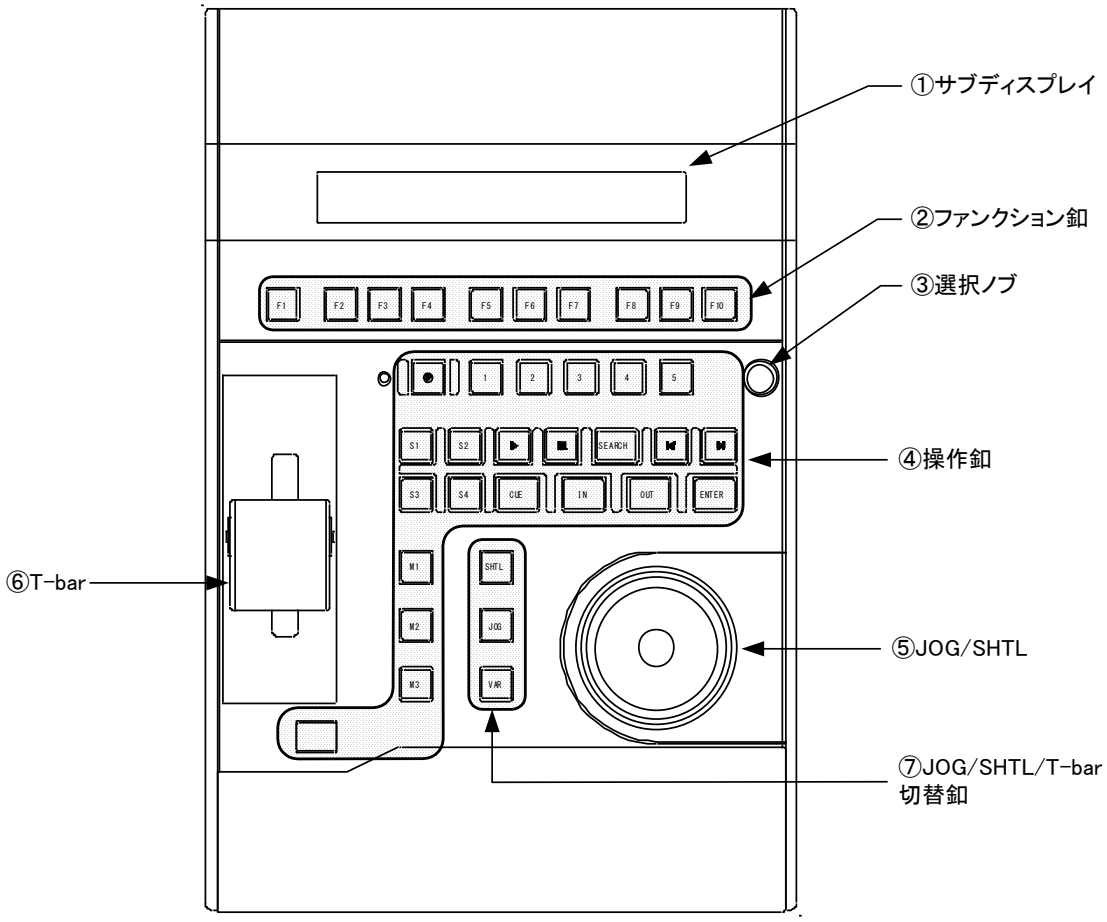


※USB 変換器　　VIDEO 信号を USB に変換するための装置

（推奨 DFG/USB2-lt　http://www.argocorp.com/grabber/analog/TIS/DFGUSB2-lt.html）

3. 各部の名称と機能

３．１ フロントパネル



① サブディスプレイ(未使用)

② ファンクション釦

GUI に対応したファンクション機能が割り当てられています。主にクリップの登録用に使用します。

③ 選択ノブ

登録したクリップの選択等を行います。

④ 操作釦

再生や収録開始などの機能が割り当てられています。

設定で任意の機能を割り当てる事が可能です。

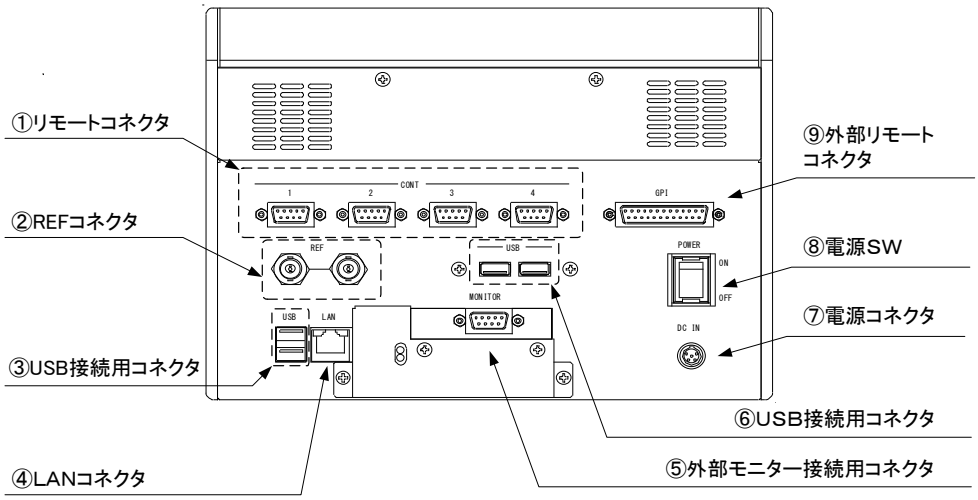
⑤ JOG/SHTL

⑥ T-bar

※ T-bar は切り替え操作なし、常時使用可能です

⑦ JOG/SHTL 切替釦

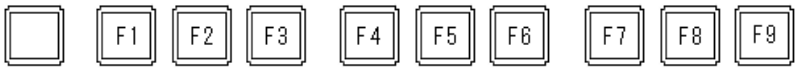
３．２ リアパネル



① リモート コネクタ
RS-422 制御で、対象機器と接続します。
② REFコネクタ
NTSC 同期信号を入力します。(ループスルー付き)
③ USB接続用コネクタ(USB 2.0)
キーボード／マウス／テンキーパット等が接続可能です。
④ LAN コネクタ
10BASE-T/100BASE-TX 対応、
⑤ 外部モニター接続用コネクタ
VGA出力で外部モニターが接続可能です。
※アプリケーション画面の推奨画面サイズは17型です。
⑥ USB接続用コネクタ(USB 2.0)
USB 変換機／オプション部等が接続可能です。
⑦ 電源コネクタ
専用ACアダプターを接続します。
⑧ 電源SW
⑨ 外部リモートコネクタ(GPI)
※詳細機能はアプリケーションで設定します。

4. 操作パネル

４．１ ファンクションボタン



クリップの登録及び、選択、メニュ操作の機能選択に使用します。また、数値入力時のテンキーとしても使用します。
ファンクションボタンは機能がアサインされている時のみ点灯します。消灯しているボタンを押しても動作しません。

※左端はスクラッチパッド用のボタンです。詳細は「スクラッチパッド」章を参照して下さい。

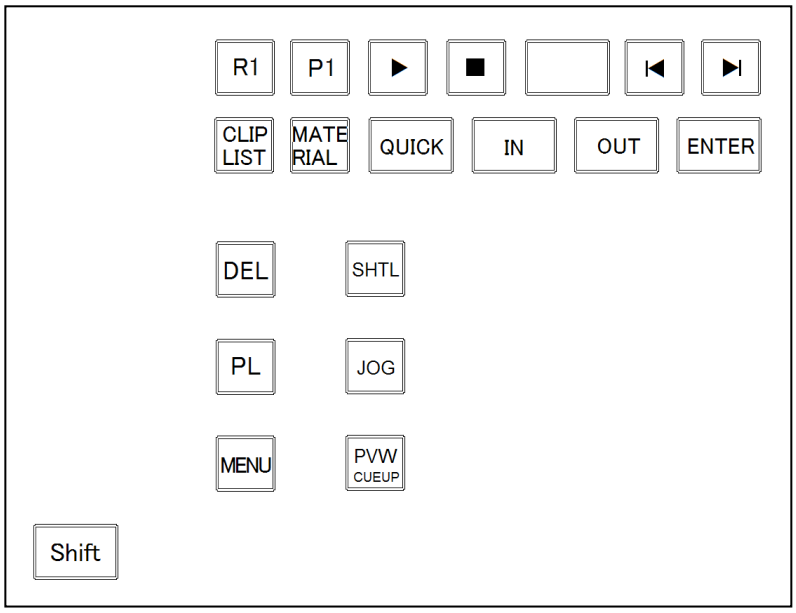
４．２ ライブ映像切り替えボタン （REC ライブボタン）

収録位置の映像を呼び出し、PLAY します(設定可)。
※ 以下、この状態を 「REC ライブ再生」 と呼びます。
収録中、ボタンが点灯します。
「SHIFT」ボタンと同時押しで、REC の開始停止を行うことができます。

４．３ モードボタン

モードの切り替えに使用します。各ボタンはそれぞれディスプレイ下部の 5 つのボタンに対応します。
モードボタンは機能がアサインされている時のみ点灯します。消灯しているボタンを押しても動作しません。

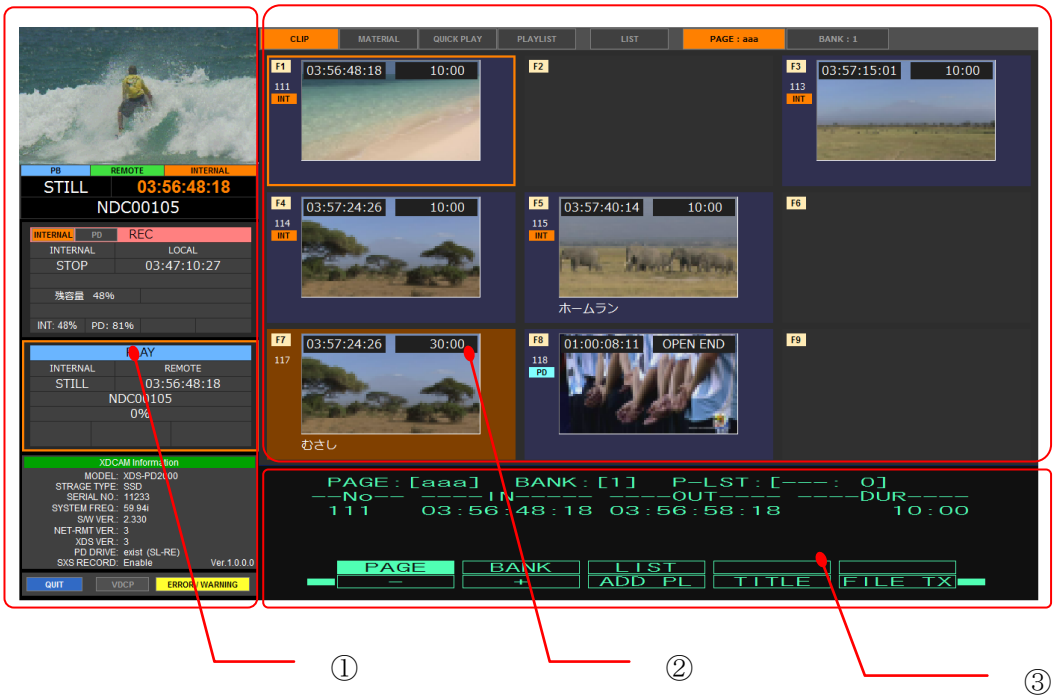
４．４ 操作ボタン



■キー名称と内容

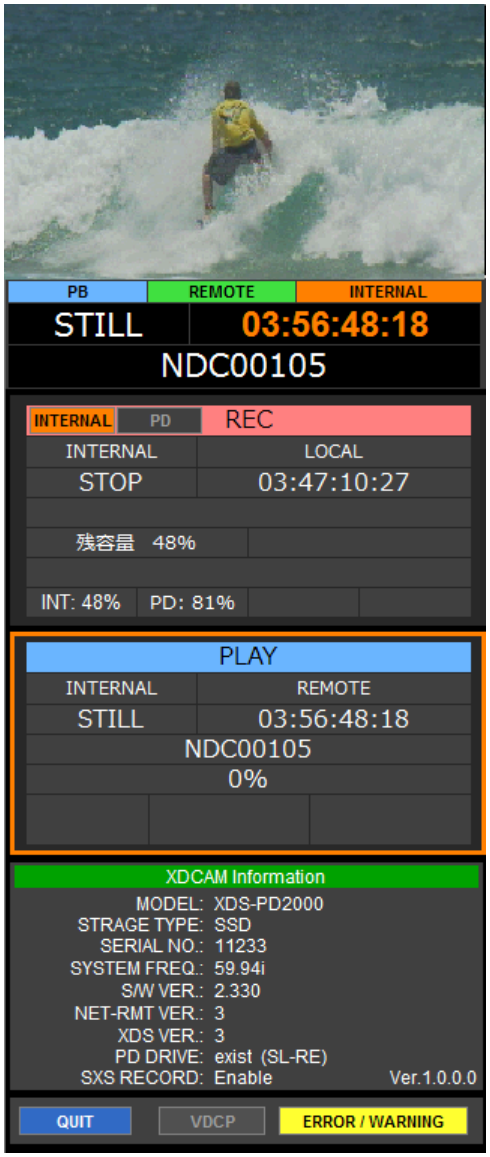
R1	Ｒポートを選択します。
P1	Ｐポートを選択します。
PLAY	再生を開始します。
STOP	再生を停止します。
GO IN	イン点へキューアップします。
GO OUT	アウト点へキューアップします。
CLIP LIST	クリップパネルを表示選択します。
MATERIAL	素材リストパネルを表示選択します。
QUICK	クイックプレイパネルを表示選択します。
IN	イン点をマークします。
OUT	アウト点をマークします。
ENTER	マークイン、マークアウトした点をクリップとして登録します。
DEL	選択した素材の削除をします。
PL	プレイリストパネルを表示します。
MENU	メニュ画面を表示します。
Shift	シフトボタン
SHTL	ダイアル動作をシャトルに切り替えます。
JOG	ダイアル動作をジョグに切り替えます。
PVW CUEUP	選択したクリップ、プレイリスト及び、キュー点をプレビュスタンバイします。 **※ XDS と MDC-3000 を RS422 で接続してください。**

5. GUI 操作画面



① ステータスエリア
② 素材エリア
③ メニュエリア

５．１ ステータスエリア



① モニタアウト部

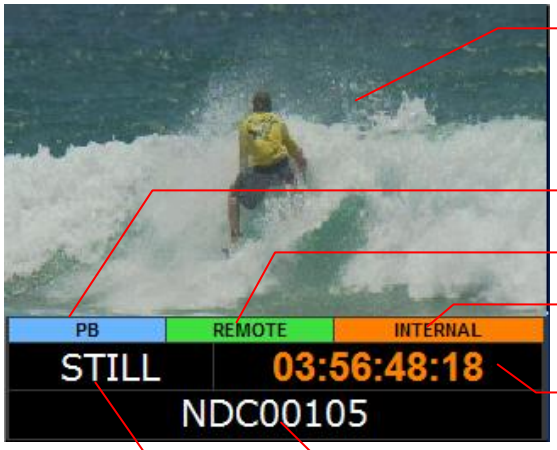
② 収録ポートステータス

③ 再生ポートステータス

④ XDS ステータス

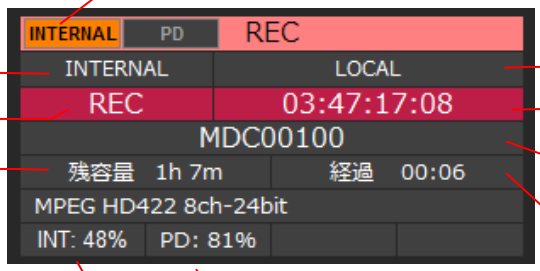
⑤ 操作ボタン

（1）モニタアウト部



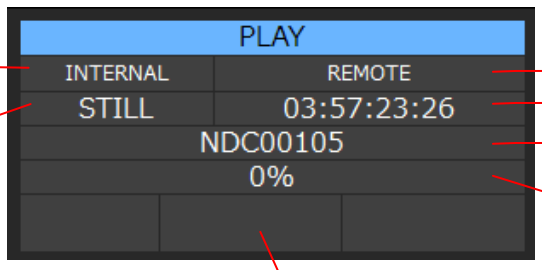
モニタアウト映像
XDS の MONITOR OUT 出力を表示
PB/EE
REMOTE/LOCAL
操作メディア
タイムコード
クリップ名
ステータス

（2）収録ポートステータス



収録対象メディア選択（収録中は選択禁止）
選択メディア
ステータス
収録残時間
REMOTE/LOCAL
タイムコード
クリップ名
収録経過時間
PD 残時間
内蔵メディア残時間

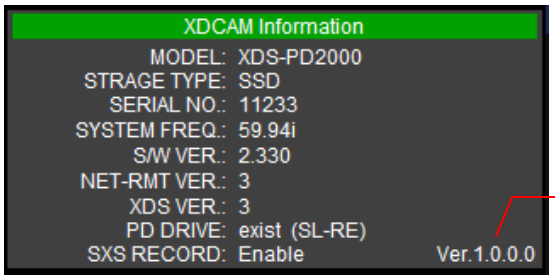
（3）再生ポートステータス



選択メディア
ステータス
REMOTE/LOCAL
タイムコード
クリップ名
再生スピード
プレビュ時再生カウンタ（経過時間、残時間）

（4）XDS ステータス

制御対象 XDS のシステム情報を表示します。



（5）操作ボタン

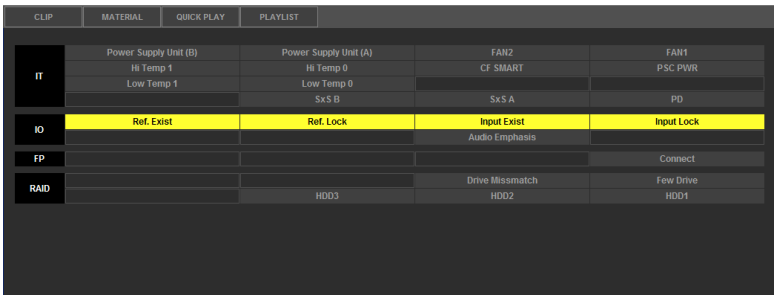
・**QUIT**　GUI ソフトを終了します。（ボタン）

・**VDCP**　RS422 接続がない場合、赤で点灯します。

・**ERROR/WARNNING**

XDS にエラー発生時は赤で、ワーニングは黄色で点灯します。

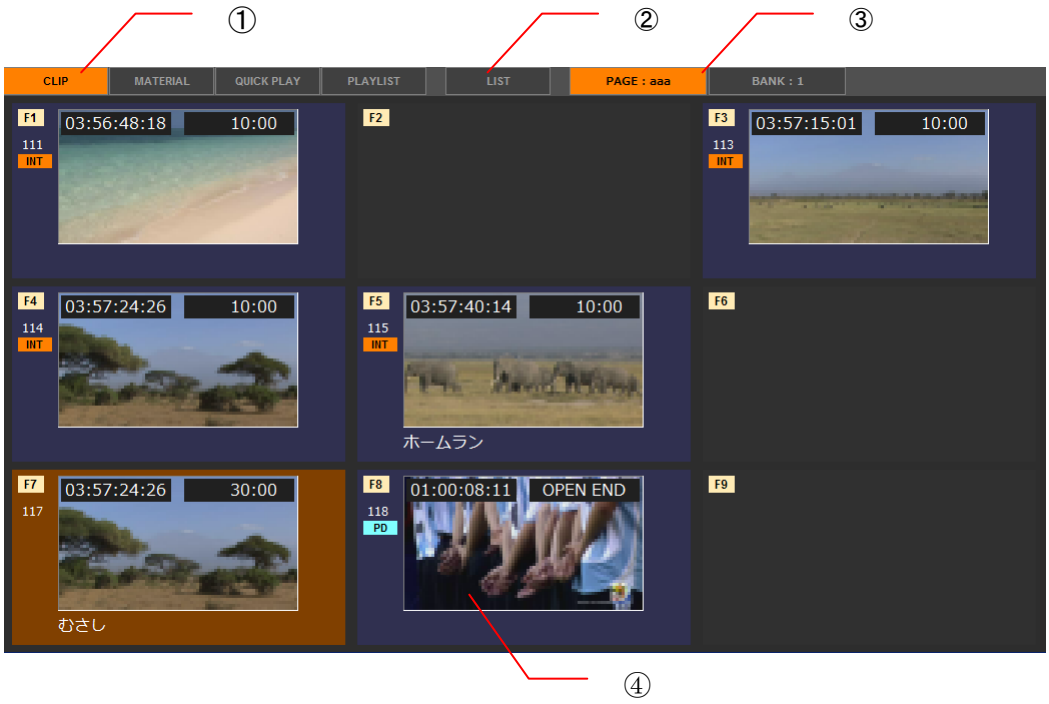
クリックすると素材エリア部に以下の画面を表示します。



５．２ 素材エリア

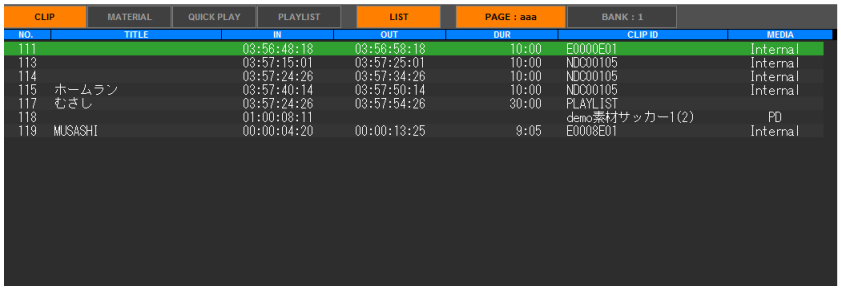
各種を表示します。
モードを切り替えることにより、「クリップリスト」、「マテリアル」、「プレイリスト」、「クイックプレイ」の各パネルを表示することができます。

（１）クリップリストパネル



① モード切替ボタン
本体ボタン「CLIPLIST」「MATERIAL」「QUICK」「PL」で同等の操作を行うことができます。

② LIST、サムネイル表示切替ボタン
ボタン押下で以下のリスト表示に切り替えます。再度押下でサムネイル表示に戻ります



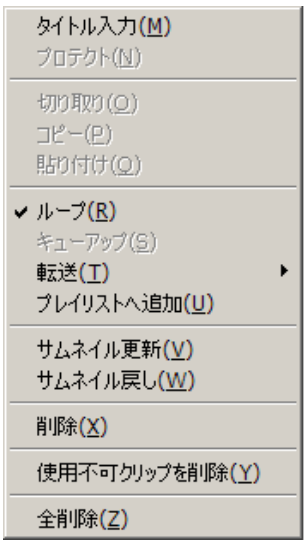
③ PAGE、BANK 切り替えボタン
クリップ管理ページ及び、バンクを切り替えます。マウス左クリックで＋1、右クリックで -1します。

④ クリップデータ

クリップデータを表示します。クリック或いは、該当のファンクションボタン押下でキューアップします。

※プレイリストの場合は以下の表示となります。

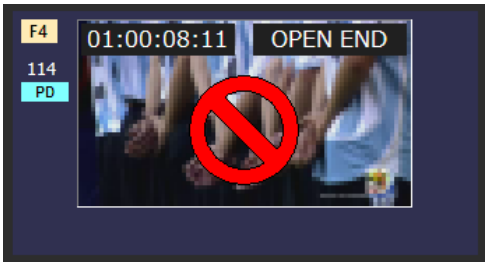
■ポップアップメニュ



・タイトル入力
　タイトル入力パネルを開きます
・ループ
　ループ再生の設定及び、解除
・転送
　他のメディアへの転送を行います。
・プレイリストへ追加
　プレイリストへ追加登録します。
・サムネイル更新
　現在位置でサムネイルを作成し設定します。
・サムネイル戻し
　設定したサムネイルを廃棄し元の表示に戻します。
・削除
　削除します
・使用不可クリップの削除
　再生できないクリップをパネル上から削除します。
・全削除
　パネル上の全クリップを削除します（確認付き）。

■ 補足

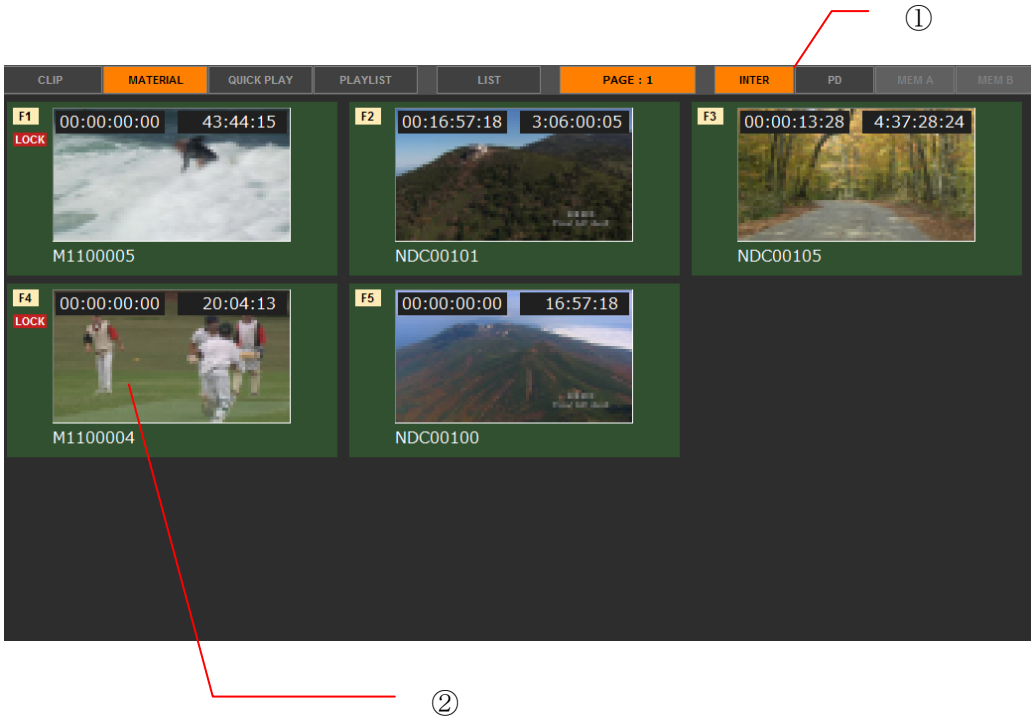
PD 内の素材から切り出してクリップを作成し、その後 PD が排出されると使用できなくなります。
このとき、クリップの表示は以下のようなります。



再度 PD が挿入されると禁止マークが消え使用できるようになります。

※内蔵メディア内の素材から切り出したクリップでも、元素材が削除されると禁止マークが表示されます。

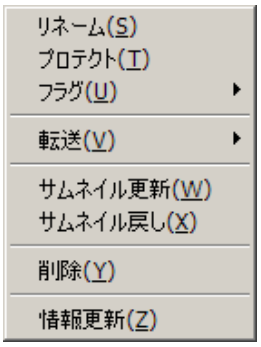
（2）マテリアルリストパネル



① メディア切替ボタン
表示対象メディアを切り替えます。対象として「内蔵メディア」「ProDisc」「SxS1」「SxS2」が選択できます。メディアがセットされていない場合、ボタン操作が不可となります。

② マテリアルデータ
メディア内のマテリアル（素材）データを表示します。クリック或いは、該当のファンクションボタン押下でキューアップします。

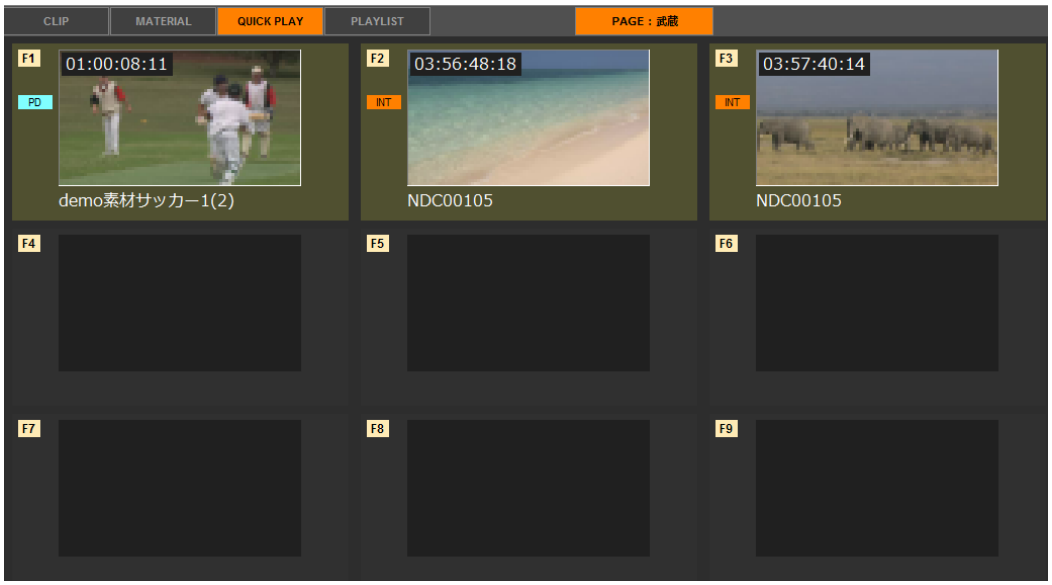
■ポップアップメニュ



- リネーム
  クリップ名称を変更します（XDS 本体側に反映します）。
- プロテクト
  クリップにプロテクトの設定オンオフを行います
  （XDS 本体側に反映します）。
- フラグ
  クリップにフラグの設定オンオフを行います。フラグは
  OK、KEEP、NG、なし
  から選択できます。
  （XDS 本体側に反映します）。
- 転送
  他のメディアへの転送を行います。
- サムネイル更新
  現在位置でサムネイルを作成し設定します。
- サムネイル戻し
  設定したサムネイルを廃棄し元の表示に戻します。
- 削除
  削除します。
  ※XDS 本体から削除されますのでご注意ください。
- 情報更新
  最新の状態で表示しなおします。

（3）クイックプレイパネル

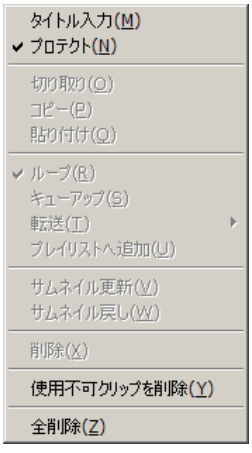
キュー点を登録します。10 ページ×9 個のキュー点を登録することができます。登録方法は後述。



■ キュー点

クリック或いは、該当のファンクションボタン押下でキューアップします。

■ ポップアップメニュ



・タイトル入力

タイトル入力パネルを開きます。

・プロテクト

プロテクトのオンオフを設定できます。

・削除

削除します。

・使用不可クリップの削除

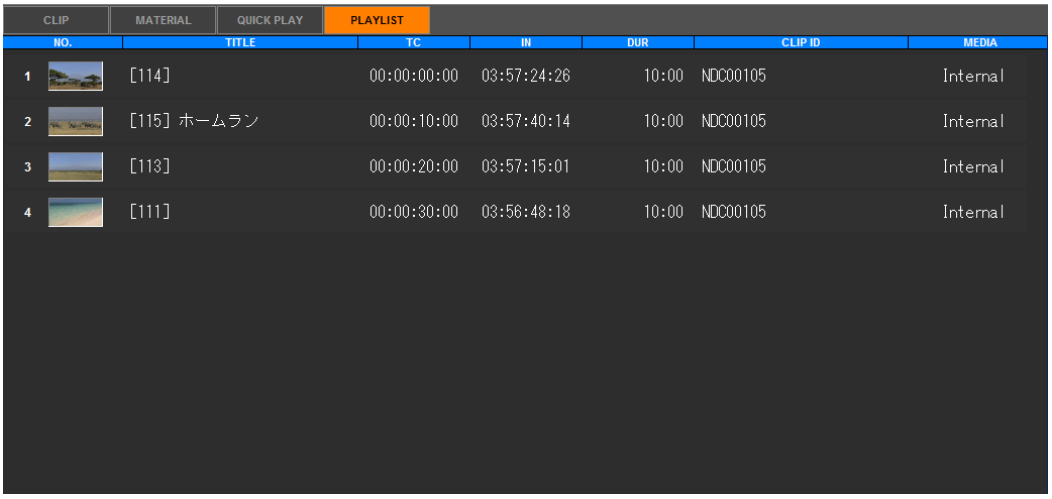
再生できないクリップをパネル上から削除します。

・全削除

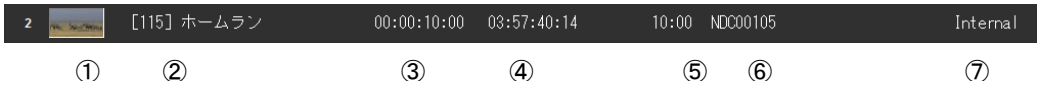
パネル上の全クリップを削除します（確認付き）。

（4）プレイリストパネル

プレイリストの表示、編集することができます。



■ プレイリストアイテム



① サムネイル
② [クリップ番号] タイトル
③ 先頭からのオフセットタイムコード
④ 素材のイン点タイムコード
⑤ デュレーション
⑥ クリップ名
⑦ 所属メディア

※ プレイリストでハイライト再生ができるのは内蔵メディア内のクリップのみです。
他のメディアで作成したクリップはプレイリストに登録することができません。

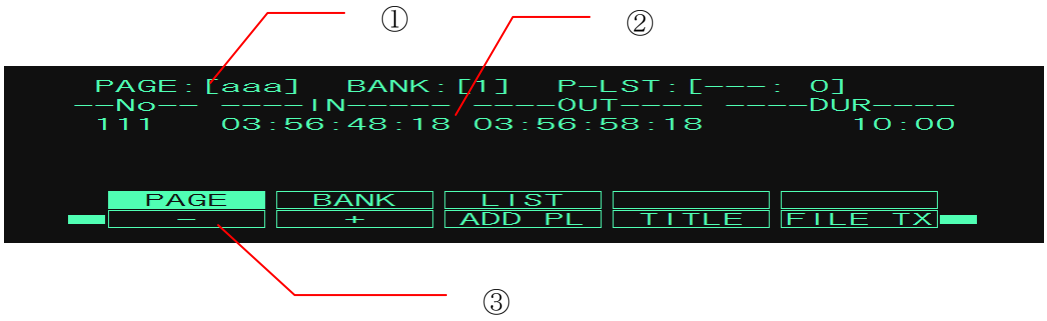
■ ポップアップメニュ

・削除
削除します
・全削除
リスト上の全クリップを削除します。

５．２ メニュエリア

（１）クリップリストパネル

クリップリストパネル表示時のメニュエリアは以下のようになります。



① ページ、バンク情報

現在選択中のページ番号、バンク番号、プレイリスト情報を表示します。

PAGE : [aaa] ページ番号（設定時は名称表示）
BANK : [1] バンク番号
P-LST:[---: 0] プレイリスト［(プレイリスト番号) : (クリップ総数) ］

② クリップ情報

編集中のクリップ情報を表示します。

111	03:56:48:18	03:56:58:18	10:00
(クリップ番号)	(イン点)	(アウト点)	(デュレーション)

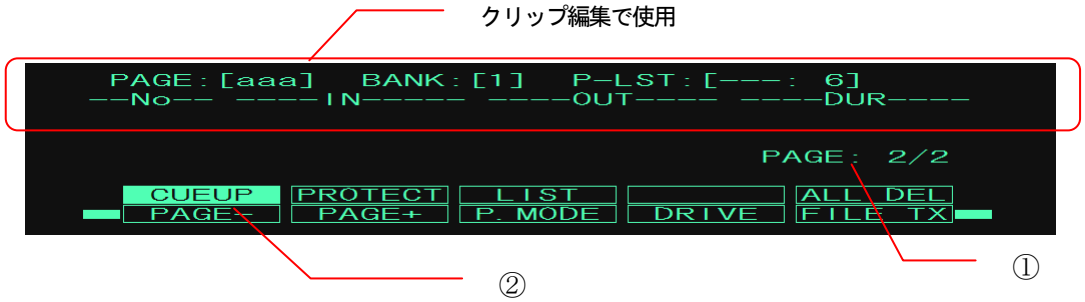
③ モードボタン

本体ボタン「1」～「5」に該当します。上段が「SHIFT」ボタン同時押下時の機能、下段が単独押しの機能になります。「SHIFT」押下は以下の表示となります。

PAGE このボタンが選択時、「F1」～「F9」ボタンはページ切り替え機能となります。
BANK このボタンが選択時、「F1」～「F9」ボタンはバンク切り替え機能となります。
LIST リスト表示、クリップ表示を切り替えます。
－ 「PAGE」ボタンが選択時、前ページに表示変更します。
「BANK」ボタンが選択時、前ページに表示変更します。
＋ 「PAGE」ボタンが選択時、次ページに表示変更します。
「BANK」ボタンが選択時、次ページに表示変更します。
ADD PL プレイリストへ追加します。
TITLE タイトルの設定を行います(後述)。
FILE TX 他のメディアへファイル転送します。

（2）マテリアルリストパネル

マテリアルリストパネル表示時のメニュエリアは以下のようになります。画面上部はクリップ編集で使用します（「1」クリップリストパネル）章参照 ）。



① ページ数　（表示中のページ番号／ページ総数）

② モードボタン

CUEUP　このボタンが選択状態のとき各マテリアルデータをクリック或いは、該当するファクションボタンを押下するとキューアップします。

PROTECT　このボタンが選択状態のとき各マテリアルデータをクリック或いは、該当するファクションボタンを押下するとプロテクトのオンオフを行います。

LIST　リスト表示モード、サムネイル表示モードの切り替えを行います。

ALL DEL　メディア上の素材を全削除します（確認付き）。

<u>※プロテクトされているクリップは削除しません</u>

PAGE -　現在表示中の前ページに表示変更します。

PAGE +　現在表示中の次ページに表示変更します。

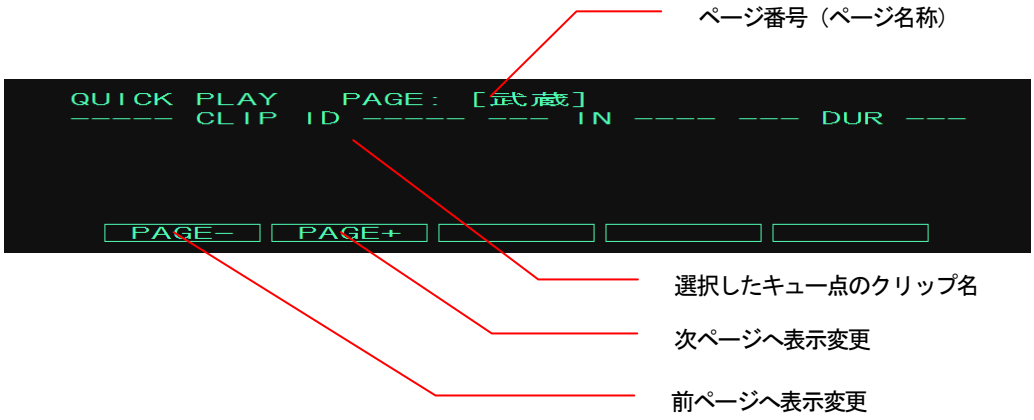
P.MODE　プログラム再生モードに遷移します（詳細後述）。

DRIVE　表示対象のメディアを切り替えます。

FILE TX　他のメディアへ転送します。

（3）クイックプレイパネル

クイックプレイパネル表示時のメニュエリアは以下のようになります。



（4）プレイリストパネル

プレイリストパネル表示時のメニュエリアは以下のようになります。

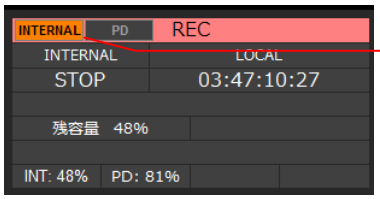
UP 選択中のクリップを１つ上へ移動します。
DOWN 選択中のクリップを１つ下へ移動します。
REDO １つ先の編集状態に戻します。
LOOP LOOP 再生モードの設定オンオフします。
EJECT プレイリスト内のクリップを全削除します。
PREV 選択カーソルを１つ上に移動します。
NEXT 選択カーソルを１つ下に移動します。
UNDO １つ前の編集状態に戻します。
IN PVW 現在選択中のクリップからイン点プレビュを行います。
SAVE プレイリストを保存します。保存したデータはクリップリストパネルに登録されます。

6. 編集操作

６．１ 収録の開始、停止

1） 収録メディア選択

・ マウス操作



収録するメディアをマウスクリック

※ 収録中は操作できません。

・ ボタン操作

① 「MENU」ボタン押下

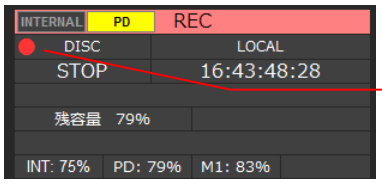
② 「F6」(INTERNAL/PD)ボタン押下

※ 収録対象のメディアの選択が切り替わります。

2） 収録実行

「SHIFT」ボタンを押下しながら 「REC」ボタンを押下します。

※以下の表示中は、REC INHIBIT がかかっていますので REC できません。REC INHIBIT 解除した後、操作してください。



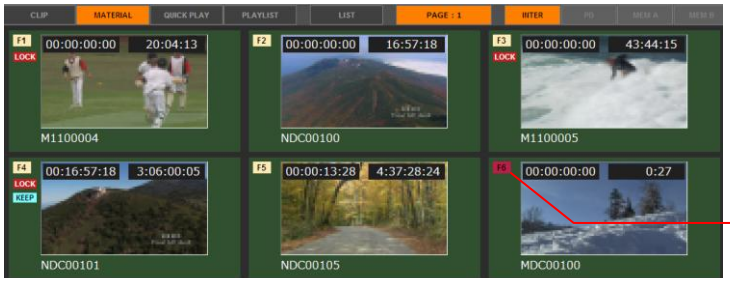
REC INHIBIT

※図では 挿入されている DISC (PD) が REC INHIBIT されていることを表します。

REC 中、「REC」ボタンが点灯します。

収録開始

※ 点灯状態で「REC」ボタンを押下すると追っかけ再生が開始します(PD 収録時は不可)。



収録している素材のインデックス番号が赤くなります

3) 収録を停止する
「SHIFT」ボタンを押下しながら「REC」ボタンを押下します。

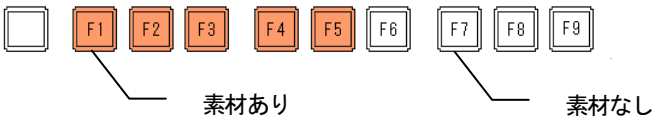
※設定により確認メッセージを出すことができます。

６．２ 収録素材の呼び出し

収録済み素材或いは、収録中の素材の呼び出しには以下の方法があります。

1） マテリアルリストパネルから選択する

マテリアルリストパネルを表示し、該当の「F1」～「F9」ファンクションボタンを押下します。
ページを変更する場合は、「1」(PAGE＋)、「2」(PAGE－)ボタンを押下します。
このとき、「F1」～「F9」ボタンが素材の有無により点灯状態が変化します。



2） 追っかけ再生を行う

収録中の場合、「REC」ボタン押下で追っかけ再生を行うことができます(現在収録中の素材呼び出し)。

※ 「REC」ボタン押下で編集中の イン点、アウト点はクリアされます。

６．３ クリップを編集する

（１）ページ、バンク切り替え

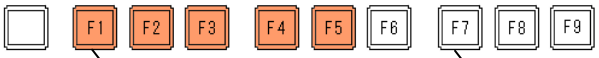
■フロントパネルで操作

①「SHIFT」ボタン押下。モードボタンの表示が以下のようになります。

「SHIFT」ボタン押下時、マークが上に移動します。

② ページを切り替える場合は、「1」ボタン押下、バンクを切り替える場合は、「2」ボタン押下でそれぞれ選択状態が切り替わります。

③「F1」～「F9」ボタンがページ番号、バンク番号に対応するボタンとなりますので、指定の番号のボタンを押下します。
このときファンクションボタンのクリップの有無により点灯が変化します。素材エリア内のサムネイルの表示に対応します



クリップ登録あり　　クリップ登録なし

④「SHIFT」ボタン押下されていない状態で、「1」ボタンで前ページ（前バンク）、「2」ボタンで次ページへ切り替えることができます。

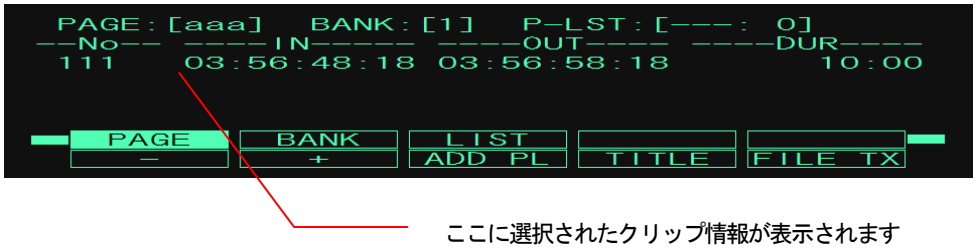
■マウスで操作

①　　②

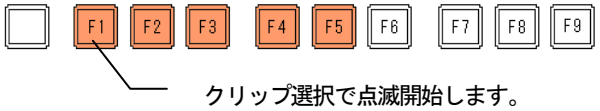
① 左クリックで次ページ、右クリックで前ページへ切り替えます。
② 左クリックで次バンク、右クリックで前バンクへ切り替えます。

（2）クリップ呼び出し

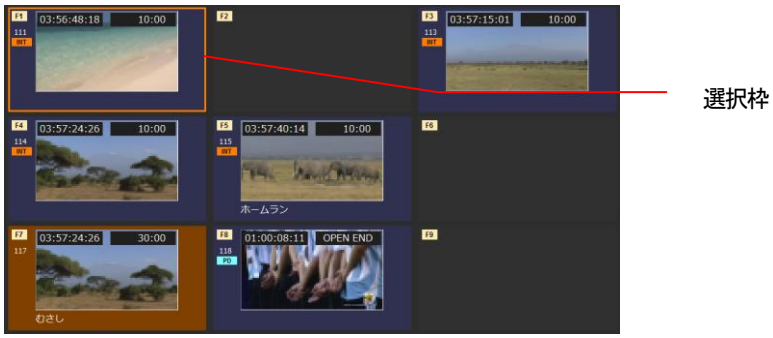
① ページ、バンクを切り替えた後、「F1」～「F9」ボタンを押下します。



選択されたクリップに該当するファンクションボタンが点滅します。



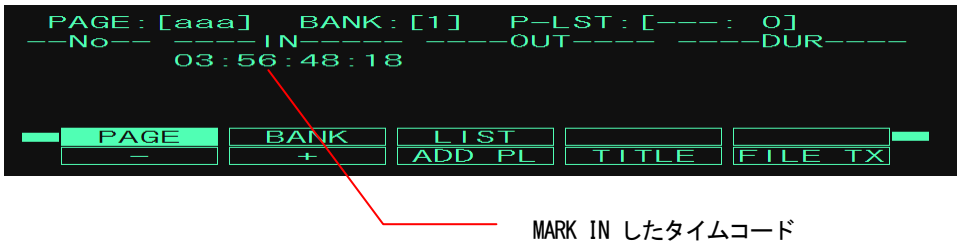
さらに、素材エリアのサムネイル上に選択枠が表示されます。



② マウスで操作する場合、サムネイル上を左クリックします。

（3）クリップ作成

① 「IN」ボタン押下してマークイン。



② オープンエンドで作成する場合はここでクリップ登録します（→④）。

③ 「OUT」ボタン押下してマークアウト。デュレーションは自動で計算されます。

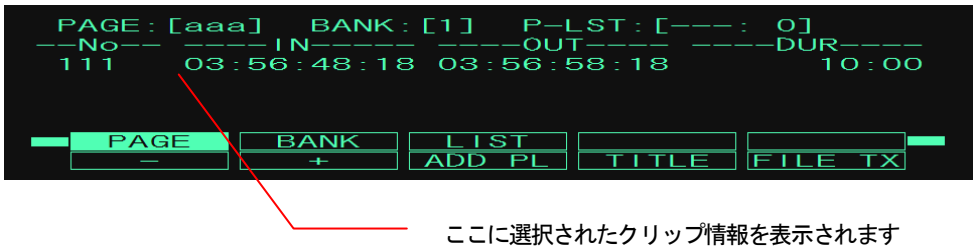
④ クリップリストパネルに登録します。

- 「ENTER」ボタン押下で未登録のクリップ番号に自動で登録されます。
- 「F1」～「F9」ボタン押下で任意のクリップ番号へクリップ登録されます。但し、既に登録されているクリップ番号へは登録できません。

2) クリップ編集

① 編集するクリップ呼び出します。

- ページ、バンクを選択し「F1」～「F9」ボタンを押下します。
- マウスで操作する場合、サムネイル上を左クリックします。



② イン点、アウト点変更

- 「GO IN」ボタンでイン点へ、「GO OUT」ボタンでアウト点にキューアップします。
- 「IN」「OUT」ボタンでイン点、アウト点を変更します（ボタン押下時点で確定されます）。
- 「SHIFT」＋「OUT」でアウト点クリアします。
  ※イン点はクリアできません。

（4）タイトル設定

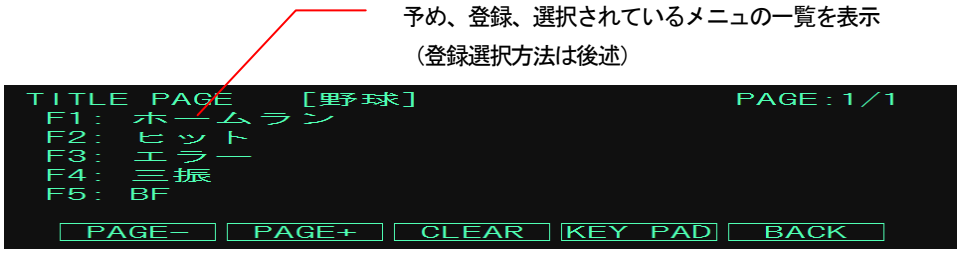
クリップにタイトルをつけることができます。

■ フロントパネルで設定

① タイトルを設定するクリップを呼び出します。

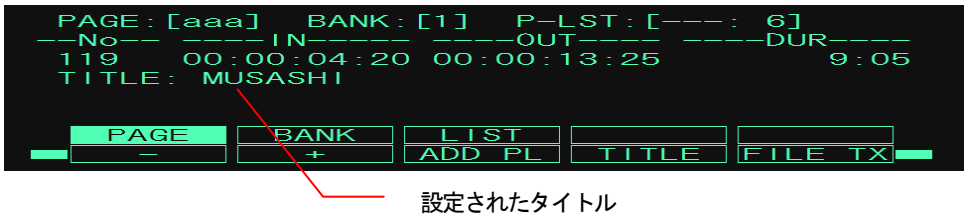
② 「4」(TITLE) ボタン押下。

③ メニュエリアが以下の表示となります。



PAGE−	前ページへ表示切替
PAGE+	次ページへ表示切替
CLEAR	登録されているタイトルを削除
KEY PAD	タイトル入力用のキーパッド表示(使用方法は後述)
BACK	タイトル設定ページを抜けて、クリップ編集画面に戻ります。

④ 該当する「F1」～「F9」ボタンを押下してタイトルを設定します。

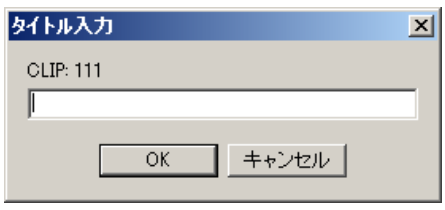


<u>※タイトル設定した段階でクリップは変更登録されます。</u>

■ マウスで設定

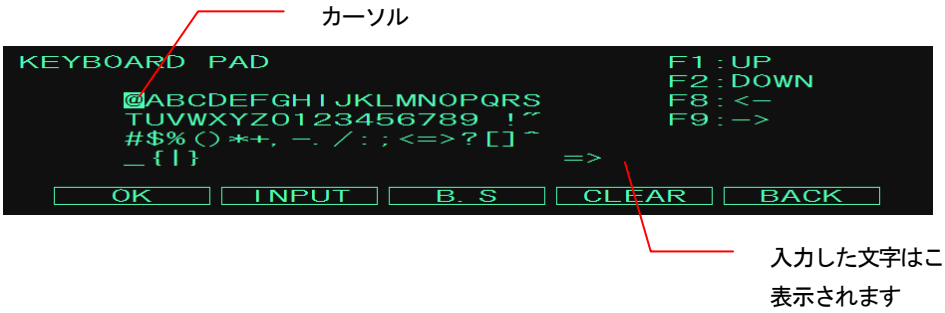
① 設定するクリップのサムネイル上で右クリックし、ポップアップメニュの「タイトル設定」を選択します。

② 以下の入力ウィンドウが表示されますので、タイトル入力し「OK」します。



■ KEY PAD の使用方法

選択ノブを回してカーソルを移動します。指定位置で「2」(INPUT)ボタンを押下すると 1 文字タイトルに登録されます。小文字を入力したい場合は「SHIFT」ボタンを押下します。日本語は入力できません。

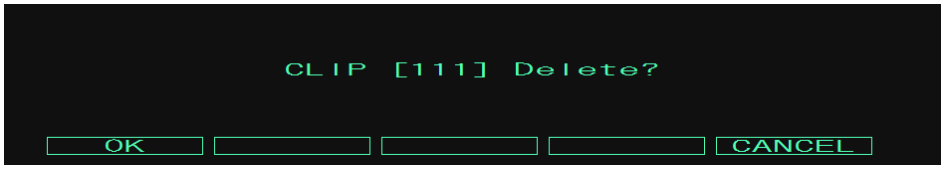


OK	入力したタイトルを確定し、クリップにセットします。
INPUT	カーソル上の文字をタイトルに入力
B.S.	バックスペース
CLEAR	入力したタイトルをクリア
BACK	KEY PAD を抜けます。

（５）クリップ削除

③ 削除するクリップ呼び出します。

④ 「DEL」 ボタンを押下します。メニュエリアの表示が以下のようになりますので、「1」(OK)、「5」(CANCEL)を選択してください。



⑤ マウスで行う場合、サムネイル上を右クリックし、ポップアップメニュの「削除」を行います。

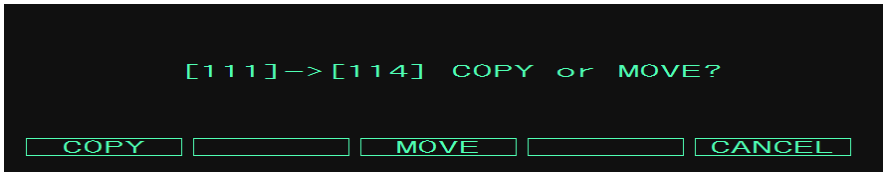
※確認はしませんのでご注意ください。

（6）クリップコピー、移動

⑥ コピー、移動するクリップ呼び出します。

⑦ 未登録のクリップ番号のファンクションボタンを押下します。
※ページ、バンクを変更することができます

⑧ メニュエリアの表示が以下のようになりますので、該当の処理を選択してください。



COPY クリップの複製を作成し登録します。
MOVE クリップを移動します
CANCEL 処理を中断します。

⑨ マウスで行う場合、コピー、移動するクリップを選択後、未登録のクリップ部分をクリックします。
以降、③の操作と同様になります。

（7）クリップの転送

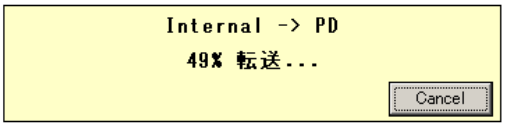
他のメディアにクリップを転送することができます。

⑩ クリップを選択します。

⑪ 「5」(FILE TX) 押下します。

⑫ メニュエリアが以下の表示となりますので、転送先のメディアを「F1」～「F4」で選択します。

⑬ 「1」(EXEC)ボタンで実行開始します。実行中は以下の画面が表示されます。転送完了すると表示が消えます。



６．４ マテリアルパネルの操作

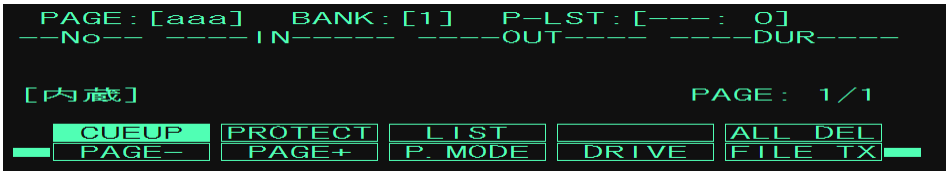
（１）メディアの選択

画面上部の「INTER」「PD」「MEM A」「MEM B」ボタンを押下して操作対象のメディアを選択します。
リムーバルメディアの「PD」「MEM A」「MEM B」については、メディア挿入されていない時、対応するボタンは操作不可となります。

フロントパネルで操作する場合、「4」(DRIVE)ボタンを押下します。
メディアが挿入されている場合、ボタン押下毎に「INTER」→「PD」→「MEM A」→「MEM B」→「INTER」と切り替えていきます。

（２）メニュエリアの表示について

上部はクリップ編集用に使用します(「クリップの編集」章参照)。



[内蔵] 選択されているメディアの名称を表示します(設定方法は後述)。PD の場合、個々のメディアに対して名称を設定することができます。

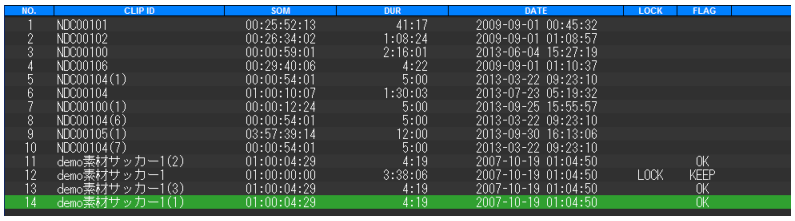
PAGE : 1/1 (現在表示中のページ番号)／(全ページ数)

CUEUP 選択中のとき各素材データを選択するとイン点にキューアップします。

PROTECT 選択中のとき各素材データを選択するとプロテクトのオンオフを行います。

LIST LIST 表示、サムネイル表示の切り替えを行います。

リスト表示例



NO.	CLIP ID	SOM	DUR	DATE	LOCK	FLAG
1	NDC00101	00:25:52:13	41:17	2009-09-01 00:45:32		
2	NDC00102	00:26:34:02	1:08:24	2009-09-01 01:08:57		
3	NDC00100	00:00:59:01	2:16:01	2013-06-04 15:27:19		
4	NDC00106	00:29:40:06	4:22	2009-09-01 01:10:37		
5	NDC00104(1)	00:00:54:01	5:00	2013-03-22 09:23:10		
6	NDC00104	01:00:10:07	1:30:03	2013-07-23 05:19:32		
7	NDC00100(1)	00:00:12:24	5:00	2013-09-25 15:55:57		
8	NDC00104(6)	00:00:54:01	5:00	2013-03-22 09:23:10		
9	NDC00105(1)	03:57:39:14	12:00	2013-09-30 16:13:06		
10	NDC00104(7)	00:00:54:01	5:00	2013-03-22 09:23:10		
11	demo素材サッカー1(2)	01:00:04:29	4:19	2007-10-19 01:04:50		OK
12	demo素材サッカー1	01:00:00:00	3:38:06	2007-10-19 01:04:50	LOCK	KEEP
13	demo素材サッカー1(3)	01:00:04:29	4:19	2007-10-19 01:04:50		OK
14	demo素材サッカー1(1)	01:00:04:29	4:19	2007-10-19 01:04:50		OK

ALL DEL　　メディア内の全素材を削除します。
※プロテクトされている素材は削除されません。
メニュエリアが以下の表示となりますので「1」(OK)、「5」(CANCEL)で処理を選択してください。

PAGE -　　現在表示ページの次ページを表示します。
PAGE +　　現在表示ページの次ページを表示します。
P.MODE　　プログラム再生モードに遷移します(詳細後述)。
DRIVE　　表示対象のメディアを切り替えます。
FILE TX　　素材の転送を行います(「クリップの転送」章参照)。

(3) 並べ替え

マウスのドラッグ&ドロップで素材の並べ替えができます。

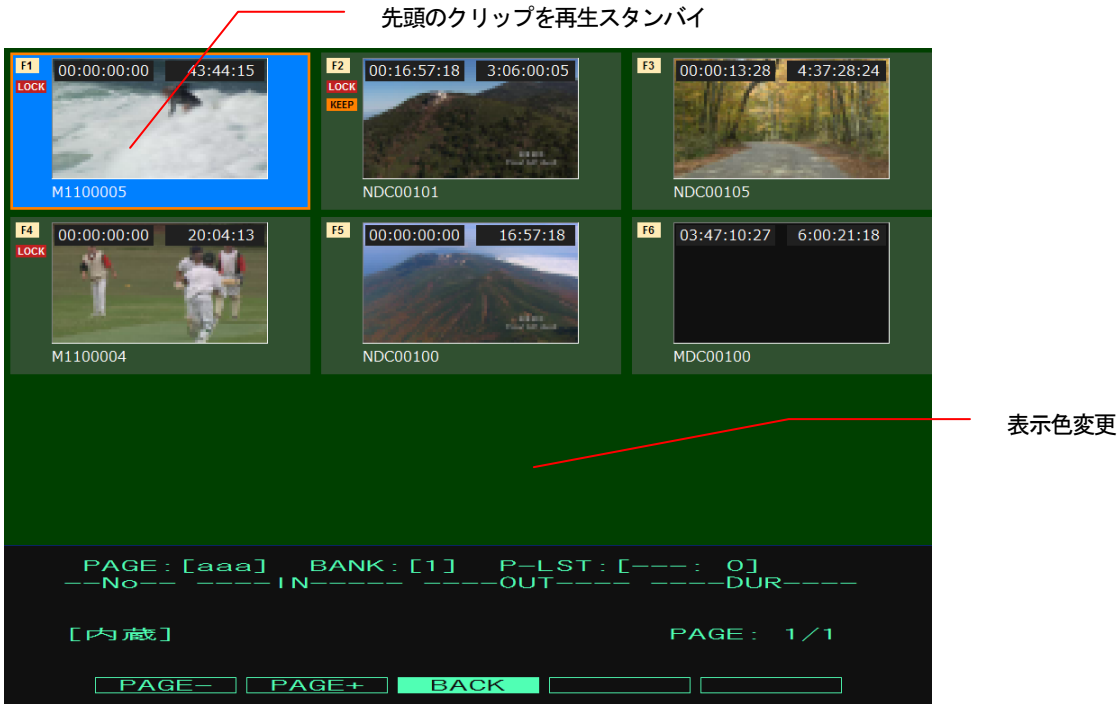
※ ドラッグ元とドラッグ先の素材のみ入れ替わります。この並びは保存されますので次回起動時、この並びで表示されます。

（4） プログラム再生モード

メディア内の素材を個別再生するモードです。素材エリアに並んでいる順に再生されます。

※ XDS 本体側操作で素材再生すると、内蔵メディアでは本体設定により個別に再生するか連続再生するかを選択することができますが、PD では個別再生できず、常にクリップ間で連続再生します。

「3」(P.MODE)ボタンで プログラム再生モードに遷移すると、以下の表示となります。

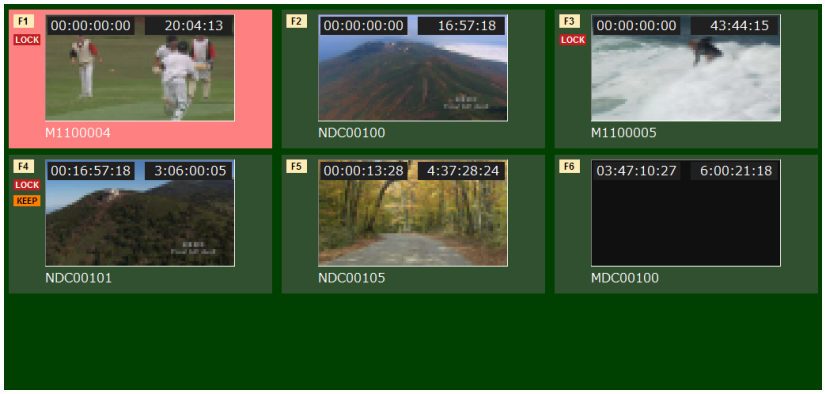


メニュエリア

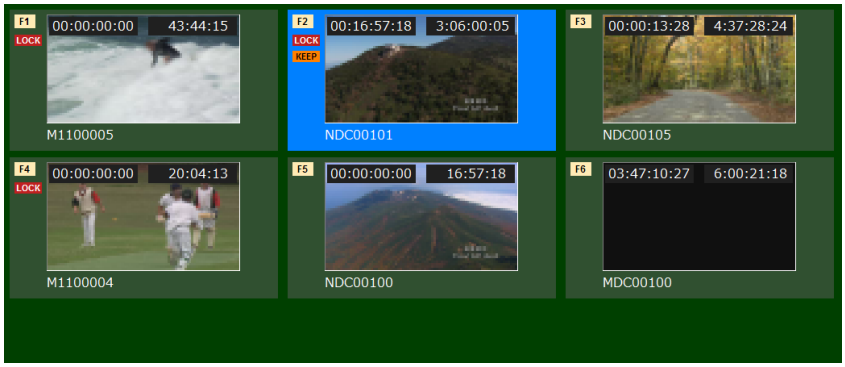
PAGE− 現在表示中ページの前ページに表示変更します(データがある場合)。
PAGE+ 現在表示中ページの次ページに表示変更します(データがある場合)。
BACK プログラム再生モードを抜けます。

- 「F1」～「F9」ボタン押下で、再生スタンバイ位置を変更することができます。
- 素材データ上をマウス右クリックすると再生スタンバイ位置を変更することができます。

再生が始まると以下のように表示が変わり、再生していることが分かります。



クリップ末尾まで再生すると、次クリップをスタンバイします。



６．５ クイックプレイパネルの操作

（１）ページ切り替え

クイックプレイパネルはキュー点を最大９ページ×９ボタン分の 81 点登録可能です。

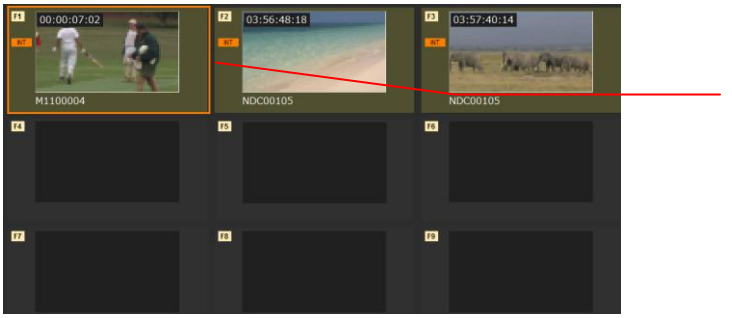
ページの切り替えは

① 上部の「PAGE」ボタンを左クリックで 次ページに表示切り替え、右クリックで 前ページに表示切り替えます。

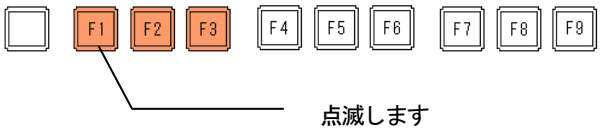
② 「1」ボタン押下で次ページに表示切り替え、「2」ボタン押下で前ページに表示切り替えます。

（２）キュー点呼び出し

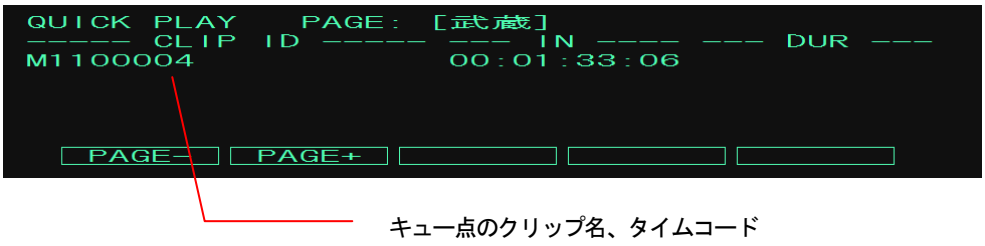
ページを選択して該当する「F1」～「F9」ボタンを押下するか、マウスでクリックします。



ファンクションボタン



メニュエリアの表示は以下のようになります。

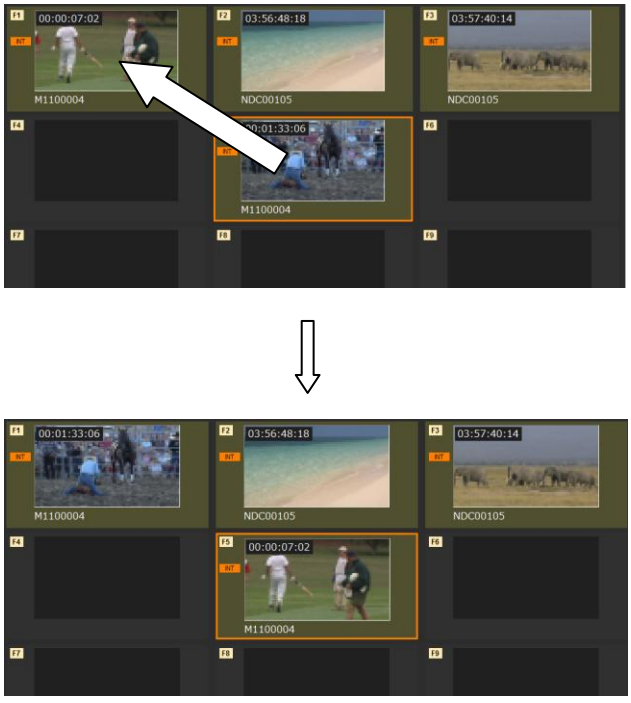


（３）キュー点登録

「SHIFT」ボタンを押下しながら指定の枠内をクリックします。現在再生位置でキュー点を登録します。

（４）登録位置移動

マウスドラッグ＆ドロップで位置の入れ替えを行うことができます。



（５）削除

削除するキュー点を選択して「DEL」ボタンを押下します。或いは、キュー点データ上でマウス右クリックしポップアップメニュの「削除」を選択します。

※ 「プロテクト」を設定すると削除操作ができなくなります。

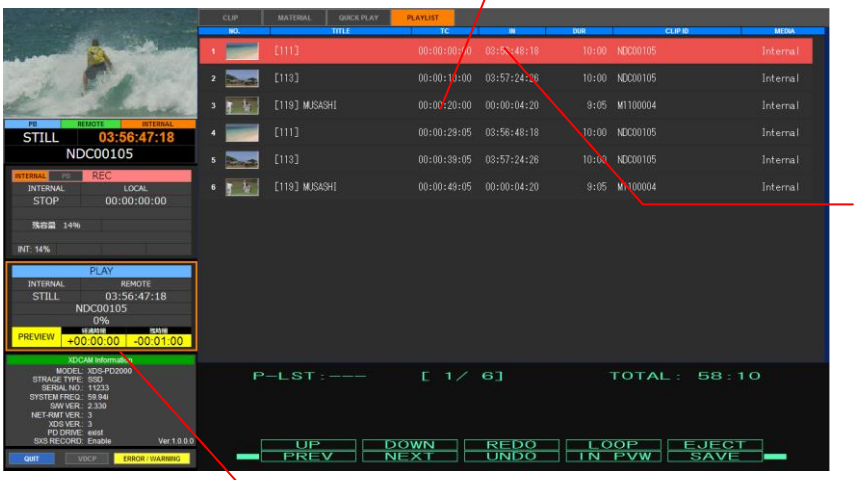
６．６ プレイリストの操作

複数のクリップを並べて連続再生(ハイライト再生)することができます。

■ 制限事項

- 使用するクリップは内蔵メディアに格納されているクリップのみとなります。PD、SxS 内のクリップは使用できません。
- 各クリップのデュレーションは1秒以上必要となります。
- 途中で停止して JOG/SHUTTLE/VAR の動作を行うことはできません。
- 制御は RS422 で行いますので RS422 ケーブルを必ず接続してください。

（１）操作画面



クリップアイテムリスト

カーソル

再生カウンタ（経過時間、残時間）
※再生時のみ表示

（２）クリップを登録する

① クリップリストパネルでプレイリストへ登録するクリップを選択。
② 「3」(ADD PL)ボタンを押下。
③ フロントパネルで行う場合、クリップ選択後「ENTER」ボタン押下。
④ デュレーションが１秒未満のクリップを登録することはできません。

（3）プレイリストを編集する

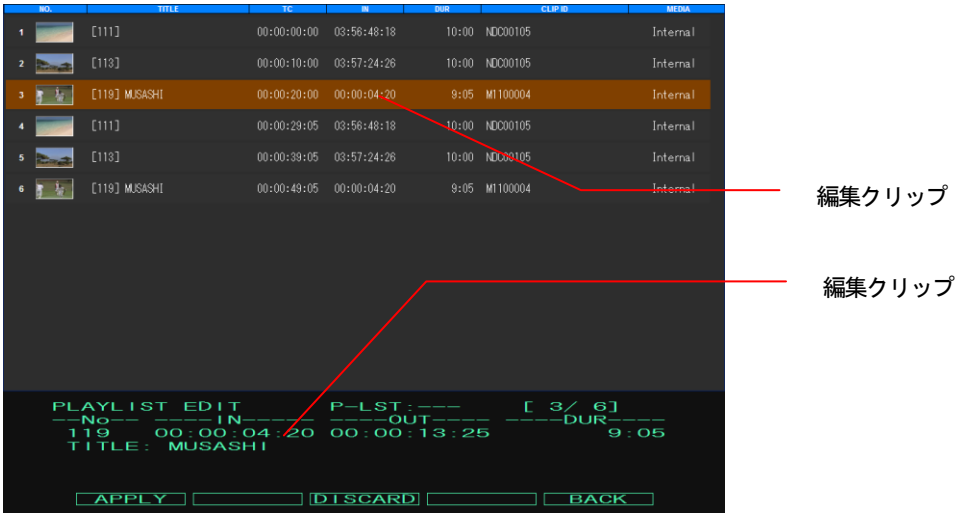
① クリップの選択

- マウスで選択したいクリップをクリックします。
- 「1」(PREV)、「2」(NEXT)ボタン押下で選択位置の変更ができます。 クリップが未選択の場合、「1」(PREV)、「2」(NEXT)ボタンでリストの先頭クリップが選択されます。

② クリップの編集

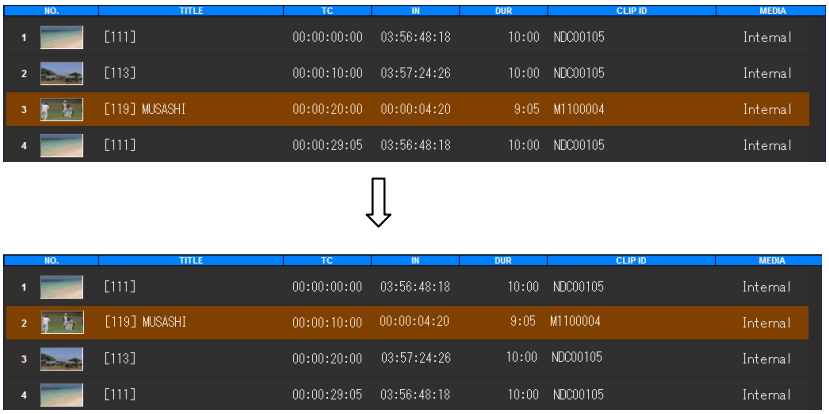
編集結果は「UNDO」「REDO」で前の状態に戻すことができます(最大 10 操作前まで)。

- 編集するクリップを選択
- 「ENTER」ボタン押下。実行後以下の画面になります。



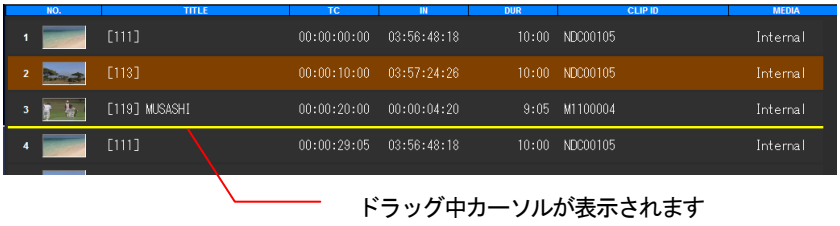
IN	イン点を更新します。
OUT	アウト点を更新します。
APPLY	編集結果を確定します。
DISCARD	編集前(この編集モードに入った時)の状態に戻します。
BACK	編集モードを抜けます。

③ カーソル上のクリップをリストの1段上に移動。
移動するクリップを選択後、「SHIFT」＋「1」(UP)ボタン押下。



④ カーソル上のクリップをリストの1段下に移動(①に「UP」の逆の動作になります。)
移動するクリップを選択後、「SHIFT」＋「1」(UP)ボタン押下。

⑤ マウスでドラッグ＆ドロップ



⑥ クリップの削除
削除するクリップを選択後、「DEL」ボタン押下。
或いは、マウス右クリックのポップアップメニュ「削除」を実行します。

⑦ クリップの全削除
「SHIFT」＋「5」(EJECT)ボタン押下。
或いは、マウス右クリックのポップアップメニュ「全削除」を実行します。

⑧ ループ再生の設定
「SHIFT」＋「4」(LOOP)ボタン押下。

⑨ インプレビュ
編集結果の確認用にインプレビュを行うことができます。
「3」(IN PVW)ボタン押下でインプレビュを実行します。
カーソル上クリップの前クリップのアウト点から指定秒数(設定)へキューアップ後、再生を開始します。

⑩ プレイリストの保存

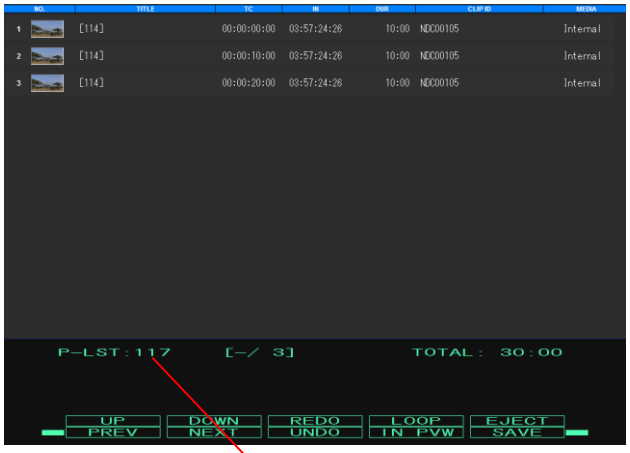
「5」ボタン押下で、編集したプレイリストを保存します。保存されたプレイリストはクリップリストパネルに登録されます。

保存されたプレイリスト
色で識別できます。

⑪ プレイリストの再編集

クリップパネルリストに登録されたプレイリストを再編集することができます。

- 編集するプレイリストをクリップリストパネルで選択
- 「3」(ADD PL)ボタン押下

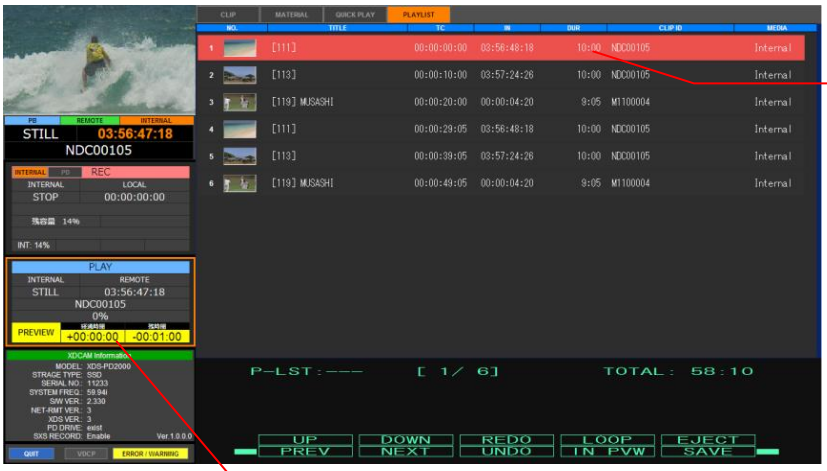


プレイリストのクリップ番号表示

（4）プレイリストを再生する

「PVW」ボタンを押下します。先頭クリップにイン点（プリロールが設定されている場合は設定秒数前の位置）にキューアップします。

実行後以下の画面になります。



※「STOP」ボタン押下で再生停止、再度「STOP」ボタン押下で再生モードを抜けます。

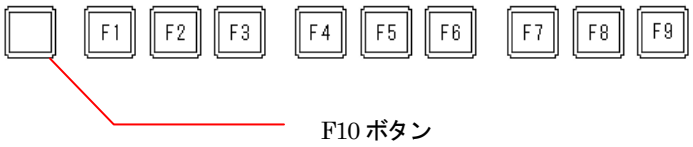
６．７ スクラッチパッド

タイムコードを入力して指定のタイムコードを呼び出す機能です。

※ 予め素材を呼び出しておく必要があります。

（１）クラッチパッドモードへ遷移

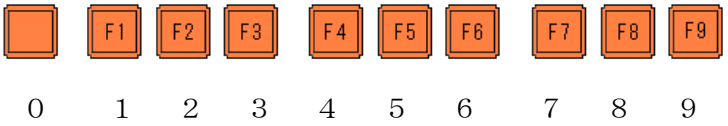
「F10」ボタンを押下します



実行後、メニュエリアの表示が以下の表示となります。

（２）タイムコード入力

ファンクションボタンがテンキーの代わりとなります。下図のようにアサインされています。



（３）モードボタン

OK　入力したタイムコードをキューアップします。
※符号が付いている場合、時現在点に加算したタイムコードにキューアップします。

B.S.　バックスペース

CLEAR　入力したタイムコードをクリアします

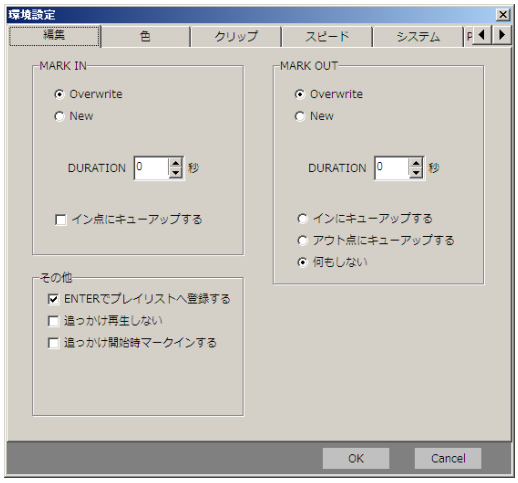
BACK　スクラッチパッドモードを抜けます。

＋　＋符号をつけます。

－　－符号をつけます。

7. 環境設定

7．1 編集



MARK IN

Overwrite MARK IN 時、イン点を上書きします。

New MARK IN で新規にクリップを作成します。「DURATION」に設定されている秒数(0 以外)でクリップを作成します。

DURATION 0 で設定無効、0 以外でデフォルトのデュレーションになります。

イン点にキューアップする

MARK IN 後、イン点にキューアップするかどうかの設定。

MARK OUT

Overwrite MARK OUT 時、アウト点を上書きします。

New MARK OUT で新規にクリップを作成します。「DURATION」に設定されている秒数(0 以外)でクリップを作成します。

DURATION 0 で設定無効、0 以外でデフォルトのデュレーションになります。

イン点にキューアップ
アウト点にキューアップ
何もしない

マークアウト後の動作を 3 つの中から選択します。

その他

ENTER でプレイリスト登録する

チェック時、「ENTER」ボタンでクリップを登録時、同時にプレイリストへ登録します。

追っかけ再生しない

チェック時、「REC」ボタン押下でキューアップのみ行い、追っかけ再生しません。

追っかけ開始時マークインする

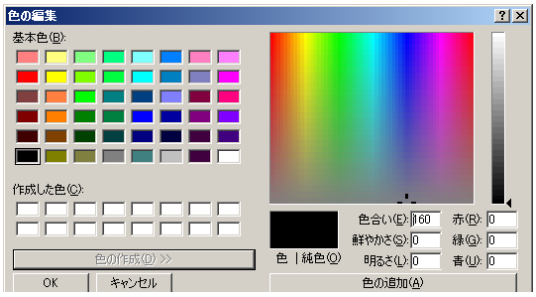
チェック時、「REC」ボタン押下で MARK IN を行います。

７．２ 色

GUI 上の表示色を設定します。

ここをクリック

変更する項目の枠をクリックすると以下の画面が表示されますので、個々で任意の色を設定してください。



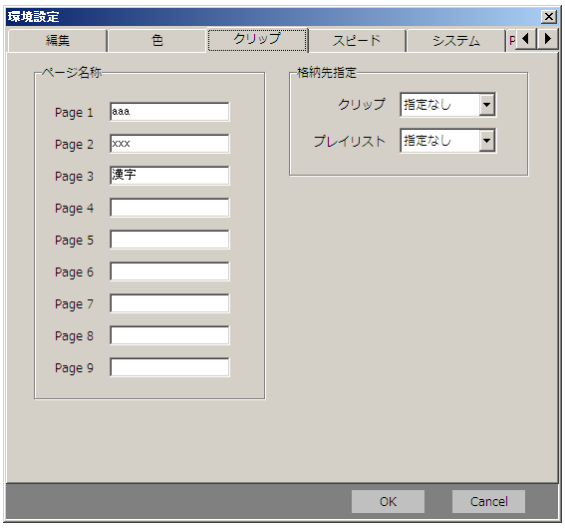
変更前に戻す

変更前(環境設定に入った時)の設定に戻します。

初期値に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

７．３ クリップ



ページ名称

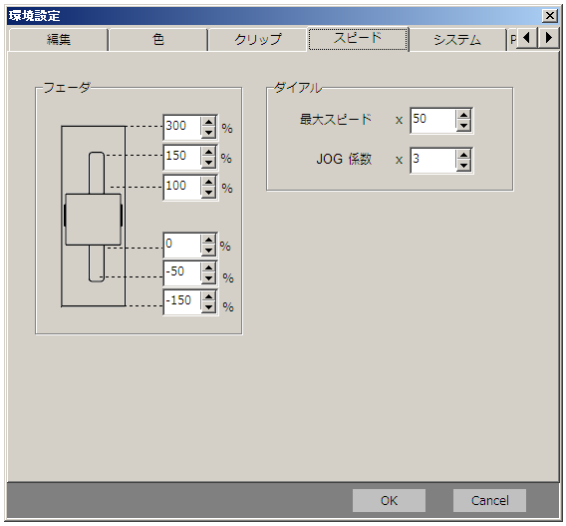
クリップリストパネルのページ1～9の名称を設定します。

格納先指定（クリップ、プレイリスト）

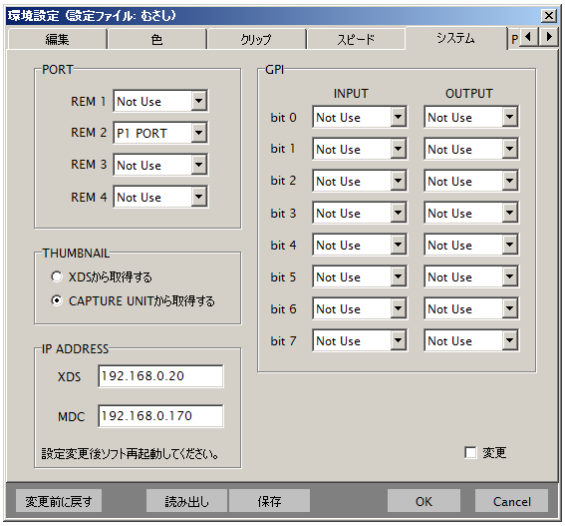
クリップ或いは、プレイリストの登録先ページ番号を指定します。ページがフルになった場合、次ページが格納対象ページとなります。

7．４ スピード

コントローラ部の再生スピードを設定します。



７．５ システム



PORT　RS422 ポートの設定を行います。
※基本的に初期状態でご使用ください。

GPI　GPI の入出力の設定を行います。
※基本的に初期状態でご使用ください。

THUMBNAIL　サムネイルの作成方法を指定します。

・XDS から取得する

LAN 経由で XDS より取得します。画角が小さい(80×45)のでやや荒い表示になります。また、PD から取得する場合、収録再生中は取得できません。

・CAPTURE UNIT から取得する

USB 接続されているキャプチャユニットから取得します。画面上表示されている映像をサムネイル化します。

IP ADDRES　MDC-3000 と制御する XDS の IP アドレスを設定します。
変更後はアプリケーションを再起動してください。

※ MDC-3000 の OS ドライブは書込み禁止となっています。よってコントロールパネルから IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの設定はここで行ってください。

変更　システムページは、ここがチェックされていないと変更できません。
変更する時はここをチェックしてから行ってください。

7．6 PRE,POSTROLL

各モードでのプリロール、ポストロールの設定を行います。

CLIP クリップリストパネル PVW 時のプリロール、ポストロールを設定します。

PLAYLIST プレイリスト PVW 時のプリロール、ポストロールを設定します。

QUICKPLAY クイックプレイパネル PVW 時のプリロールを設定します。

・選択時、再生スタンバイする

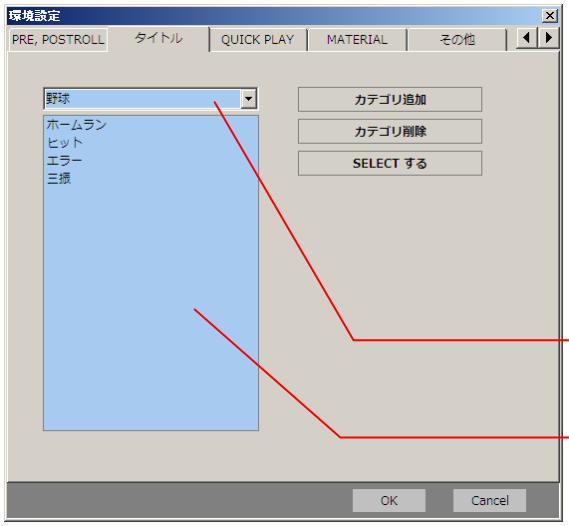
キュー点選択時、キューアップ後再生スタンバイ状態にします。

IN PVW プレイリスト編集時のインプレビュにて、戻ってキューアップする秒数を指定します。

転送 他メディアへの転送時、イン点、アウト点に設定するのりしろ秒数を指定します。

7．7 タイトル

クリップ等に設定するタイトルの編集を行います。



カテゴリ選択リスト

カテゴリ毎に登録されている
タイトルリスト
（ここのエリアを編集します）

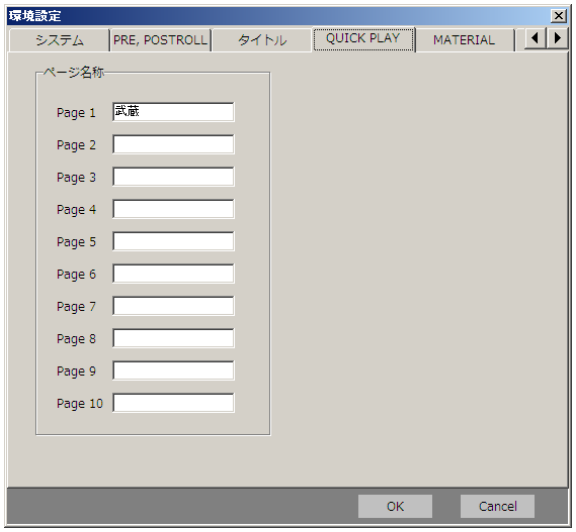
タイトル追加　　新規にカテゴリを作成します。

カテゴリ削除　　カテゴリの削除を行います。

SELECT する　　使用するカテゴリを選択します。
この選択が、クリップ設定時に一覧表示されるタイトルリストに反映します。
SELECT されているカテゴリは水色で表示され、それ以外は白で表示されます。

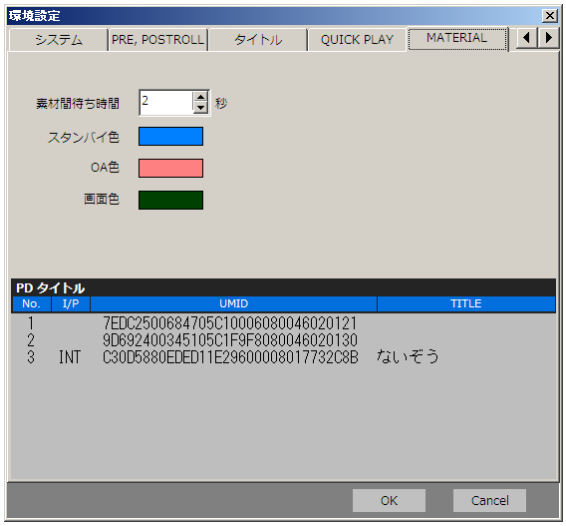
7．8 QUICKPLAY

クイックプレイパネルでの1～9ページの名称を設定します。



７．９ MATERIAL

プログラム再生モード時の画面表示色及び、内蔵、PD メディアの名称を設定します。



素材間待ち時間　前クリップの再生終了～継ぐクリップのキューアップするまでの待ち時間を設定します。

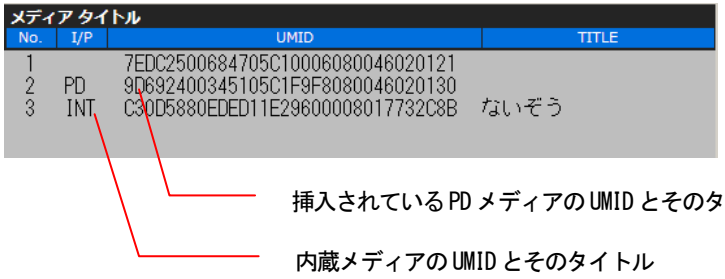
スタンバイ色　プログラム再生モード時のスタンバイクリップ色を設定します（設定方法は 色章参照）。

再生色　プログラム再生モードで再生中クリップ色を設定します（設定方法は 色章参照）。

画面色　プログラム再生モード時の素材エリア内の画面色を設定します。

メディアタイトル

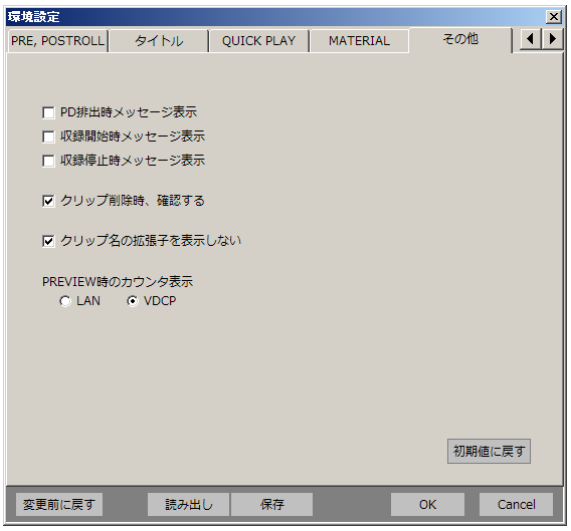
各メディアのタイトルを設定します。リストには本ソフトで認識したメディアの一覧が表示されます。



※ No.1の項目は現在挿入されていないが、以前挿入したことのあるPDのUMIDが表示されています。

※ 設定する項目上をダブルクリックするとタイトル入力画面が表示されます。

７．１０ その他



- **PD 排出時メッセージ表示**

  チェック時、PD 排出時にメッセージを表示します。

- **収録開始時メッセージ表示**

  チェック時、収録開始前に確認メッセージを表示します。

- **収録停止時メッセージ表示**

  チェック時、収録停止前に確認メッセージを表示します。

- **クリップ名の拡張子を表示しない**

  チェック時、クリップ名称に拡張子(.MXF)を表示しません。

- **PREVIEW 時のカウンタ表示**

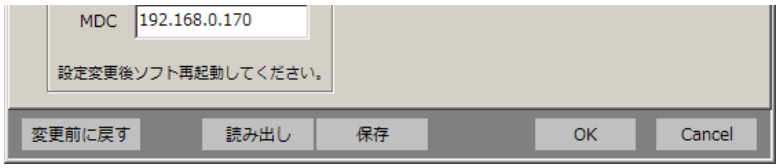
  PREVIEW カウンタに表示するタイムコードを、LAN 経由で取得したタイムコードを使用するか、RS422 経由で取得したタイムコードを使用するかを選択します。

- **初期値に戻す**

  出荷時の設定に戻します。

７．１１ 設定の保存と呼び出し

設定値の保存、読み出しを行うことができます



１）設定保存
「保存」ボタンを押下します。名称入力用のウィンドウが開きますので名称を入力して保存します。

２）設定読み出し
「読み出し」ボタンを押下します。以下の一覧ウィンドウから読み出す設定を選択し「読み出し」ボタンを押下します。

「削除」ボタン押下で選択した設定を削除することができます。

8. 運用時の注意点

（1）XDS 本体設定について

XDS のメニュを以下の設定にしてからご使用ください

① MENU 208 PROTOCOL
#2 (PB) VDCP

② MENU 638 TC FOR VDCP
VDCP ZERO BASE

③ メンテナンスメニュ (HOME+SHIFT+MENU) M51 IP ADDRESSS
192.168.0.20

（2）制限事項

- XDS は収録開始後 6 時間で自動的に停止しますので、長時間収録する場合はご注意ください。
- PD 収録中、PD 内の素材をキューアップ再生することはできません。
  ※さらに LAN 経由でサムネイルを取得することはできません。
- プレイリストの連続再生及び、各パネルでの PREVIEW 操作時は、MDC300－XDS 間で RS422 接続が必須となります。

9. 操作ログの取得方法

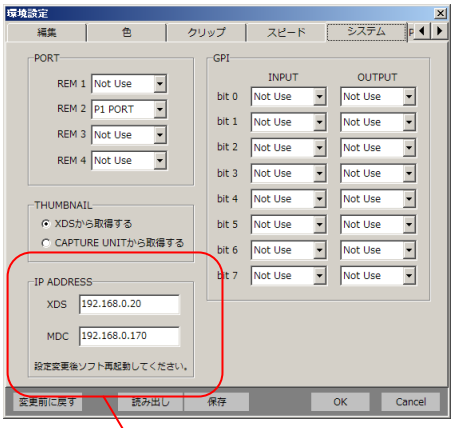
MDC-3000 の GUI アプリケーションはバックグラウンドで操作ログの収集を行っています。
ログはアプリーション起動～終了までの操作を１つのファイルに保存します。保存されたログファイルはアプリケーション起動時のタイムスタンプを名称とし、デスクトップ上の「LOG」フォルダ（ショートカット）に格納されます。

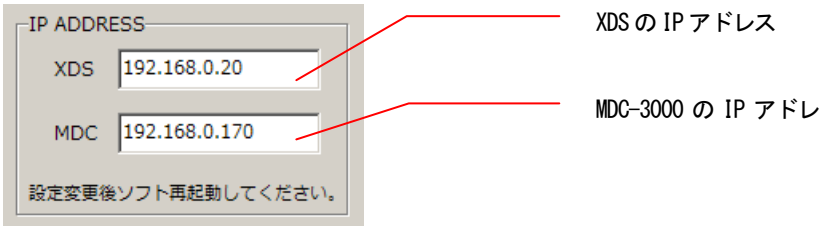
障害発生時は、アプリケーション終了後、「LOG」フォルダ内から該当日のファイル或いは、全ファイルを取得してください。

※ログファイルは 14 日間保存しています。それを過ぎると自動的に削除します。

10. IP アドレスの設定方法

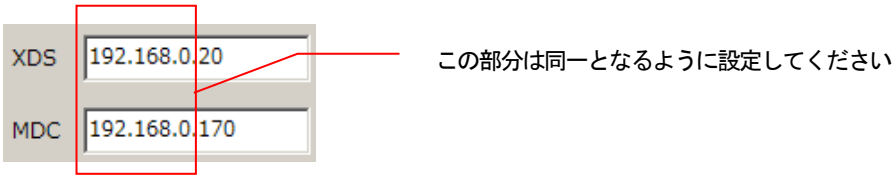
MDC-3000 の IP アドレスの設定は環境設定「システム」ページで行います。





XDS 及び、その他ネットワーク環境に合わせて設定してください。

■注意１



■注意２

「192.168.1.***」は MDC-3000 の LOCAL CPU 側で使用していますの、この番号を避けて設定してください。

※どうしても使用したい場合は、別途お問い合わせください。

■注意３

MDC-3000 の IP アドレスは Windows のネットワーク設定からはできません。必ずここで行ってください。

■注意４

設定変更後はアプリケーション再起動してください。

11. 本体メニュ設定

初期化状態に対して以下の項目の設定行ってください。

■ LOCAL CPU ソフトウェアバージョン 「S0100-0A」

	メニュ設定項目	設定値
SIO	PrtclTyp (Pt2) PortAtr (Pt2) ReqStsLen (Pt2) UbitSns (Pt2) SpeedSns (Pt2) DevTypMd (Pt2)	VDCP Play 15 Disable VtrSns Once
GPI	InpMode OutMod	Thr Thr
LAN/LINK	LanRspMod LanRepInt	AllEna 3

※ 設定後、LOCAL CUP RESET を行って下さい。

12. 使用上の注意

(1) 電源の投入について

制御対象デバイスの電源を先に入れてから、MDC-3000 本体の電源を入れて下さい。
電源投入すると、F1 釦～F10 釦が順に点灯します。1 分経つとサブディスプレイに武蔵マークが表示され、使用可能になります。

(2) 電源の切断について

電源の切断は、全ての動作を停止してから行って下さい。電源投入後、1分以内は電源を切断しないで下さい。

(3)OS について

本装置は Windows XP Embedded を使用しており、本装置の機能が実現可能な構成となっており、通常の Windows とは異なります。又 OS の設定を変更すると、動作しなくなる事がありますのでご注意下さい。

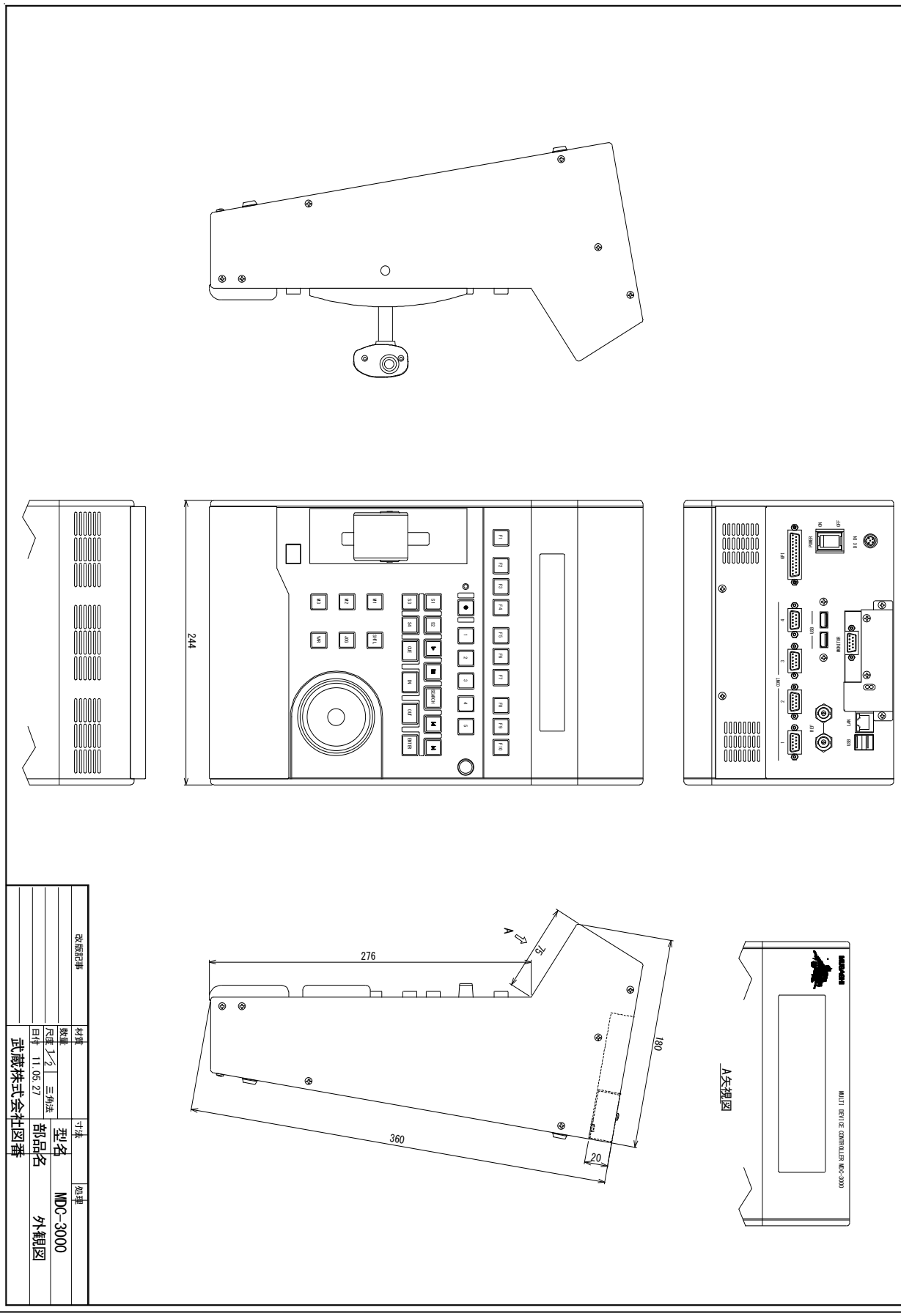
(4) バージョンについて

OS のバージョンは電源投入時に表示される、下記画面で確認ができます。

13. 電気的仕様

項目	仕様
RS－422(Dsub9PIN)	4系統
GPI(入出力各 8 ビット、Dsub25PIN)	1 系統
LAN(ETHERNET 10/100base RT-45 コネクター)	1 系統
REF(B.B 信号、BNC コネクター、ループスルー)	1 系統
USB コネクター	4 系統
MONITOR OUT(VGA コネクター)	1 系統
寸法(mm)	244(W)x360(D)x180 奥(H)～約 60 手前(H)
質量	約 5Kg
消費電力	約 20W
電源　AC アダプター使用	INPUT　100-240V ～1.2A 50-60Hz

14. 外観図


244
276
75
180
360
20
A矢視図
A
改版記事
材質
数量
尺度 1／2 三角法
日付 11.05.27
寸法
型名 MDC-3000
拡大率
武蔵株式会社図番
部品名 外観図